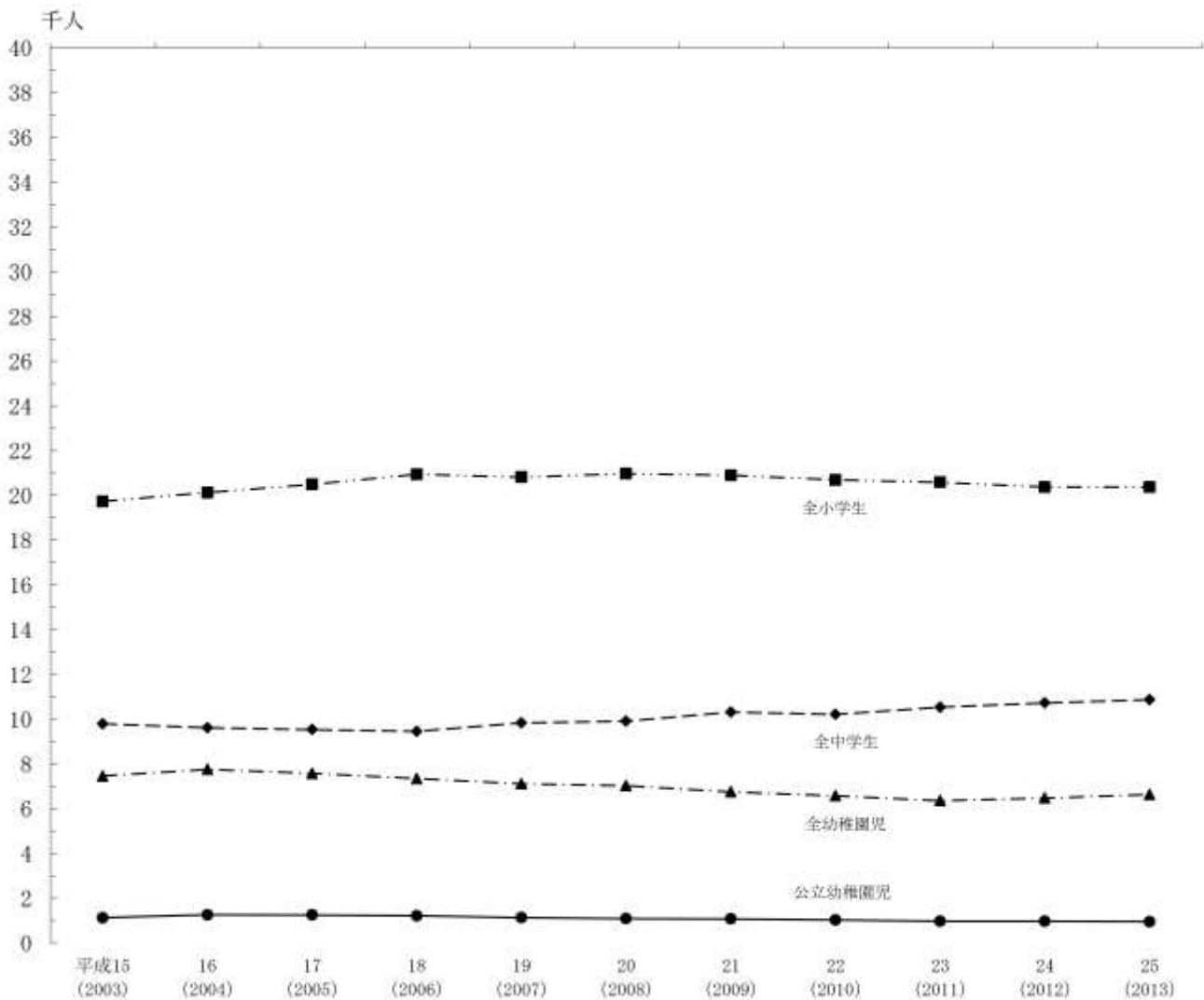


13 教 育 委 員 会

市内学校一覽

平成25年(2013年)5月1日現在

区 分	市 立		国・府立		私 立		計	
	校 園 数	児童生徒 学生数 (人)	校 園 数	児童生徒 学生数 (人)	校 園 数	児童生徒 学生数 (人)	校 園 数	児童生徒 学生数 (人)
大 学 院	—	—	1	5,061	2	1,871	3	6,932
大 学	—	—	1	6,697	3	30,421	4	37,118
短 期 大 学	—	—	—	—	1	62	1	62
高 等 学 校	—	—	5	5,012	3	3,281	8	8,293
中 学 校	18	9,544	—	—	2	1,327	20	10,871
小 学 校	35	20,372	—	—	—	—	35	20,372
幼 稚 園	16	946	—	—	17	5,688	33	6,634



学校施設

1 小学校 (35校)

平成26年(2014年)5月1日現在

小学校名	児童数 (人)	学級数	校地面積 (㎡)			校舎面積 (㎡)			屋内 運動場 (㎡)	プー ル	
			建 物	屋 外 運 動 場	計	鉄 筋	鉄骨 その他	計		(m)	
吹 田 第 一	293	16	4,224	4,154	8,378	4,394	83	4,477	766	25×8	15×4
吹 田 第 二	343	16	7,617	5,799	13,416	6,156	148	6,304	721	25×10	12×5
吹 田 第 三	577	23	2,891	5,899	8,790	5,490	151	5,641	759	25×10	12×5
吹 田 東	362	16	5,712	6,630	12,342	5,757	81	5,838	775	25×10	7×7
吹 田 南	725	27	5,365	7,315	12,680	5,787	142	5,929	755	25×10	10×6
吹 田 第 六	269	11	7,665	8,280	15,945	5,518	117	5,635	756	25×10	12×5
千 里 第 一	820	29	9,690	4,562	14,252	6,000	257	6,257	755	25×10	12×5
千 里 第 二	905	30	9,172	10,189	19,361	6,826	153	6,979	754	25×15	変形プール 167㎡
千 里 第 三	925	30	7,767	8,625	16,392	6,208	79	6,287	822	25×10	12×5
千 里 新 田	758	26	7,627	7,438	15,065	5,724	350	6,074	754	25×10	10×6
佐 井 寺	738	27	6,619	7,669	14,288	5,807	394	6,201	754	25×10	10×6
東 佐 井 寺	687	25	6,183	9,642	15,825	6,298	205	6,503	754	25×10	10×6
岸 部 第 一	287	14	7,303	9,377	16,680	8,687	195	8,882	1,095	25×13	10×15
岸 部 第 二	492	19	7,156	7,990	15,146	6,566	101	6,667	776	25×15	12×5
豊 津 第 一	1,067	37	5,895	7,011	12,906	6,845	130	6,964	755	25×8	12×5
豊 津 第 二	594	23	6,039	7,185	13,224	6,848	130	6,978	756	25×10	12×5
江 坂 大 池	399	16	4,615	6,507	11,122	5,714	148	5,862	754	25×10	12×5

小学校名	児童数 (人)	学級数	校 地 面 積 (㎡)			校 舎 面 積 (㎡)			屋 内 運 動 場 (㎡)	プ ー ル (m)	
			建 物	屋 外 運 動 場	計	鉄 筋	鉄骨 その他	計			
山 手	516	21	4,908	5,647	10,555	5,845	194	6,039	776	25×10	10×5
片 山	797	29	6,325	7,276	13,601	5,998	323	6,321	754	25×10	12×5
山 田 第 一	613	24	4,372	6,114	10,486	5,226	130	5,356	783	25×10	12×5
山 田 第 二	570	22	6,887	6,945	13,832	5,940	155	6,095	758	25×10	12×5
山 田 第 三	496	19	7,902	10,743	18,645	8,472	144	8,616	756	25×10	12×5
山 田 第 五	255	11	5,514	6,800	12,314	5,507	207	5,714	755	25×10	12×5
東 山 田	1,071	37	6,944	7,195	14,139	6,304	213	6,517	754	25×10	12×5
南 山 田	1,369	44	9,174	7,499	16,673	8,548	541	9,089	754	25×10	12×5
西 山 田	486	19	8,260	9,489	17,749	5,548	129	5,677	756	25×10	12×5
北 山 田	508	19	14,585	6,223	20,808	6,869	133	7,002	754	25×10	12×5
佐 竹 台	557	22	11,456	6,839	18,295	5,454	96	5,550	783	25×10	12×5
高 野 台	234	11	15,140	9,048	24,188	4,846	963	5,809	758	25×10	12×5
津 雲 台	444	19	17,180	7,265	24,445	6,038	117	6,155	758	25×10	12×5
古 江 台	475	17	14,127	10,941	25,068	5,856	136	5,992	755	25×10	12×5
藤 白 台	572	23	15,543	8,176	23,719	6,268	820	7,088	758	25×10	12×5
青 山 台	196	9	14,121	9,320	23,441	6,815	59	6,874	755	25×10	12×5
桃 山 台	534	20	16,323	7,964	24,287	6,220	116	6,336	758	25×10	12×5
千 里 た け み	267	13	14,298	14,575	28,873	7,534	309	7,843	1,511	25×10	12×5
合 計	20,201	764	304,599	272,331	576,930	217,913	7,649	225,551	27,697	35 校	

2 中学校 (18校)

平成26(2014) 5月1日現在

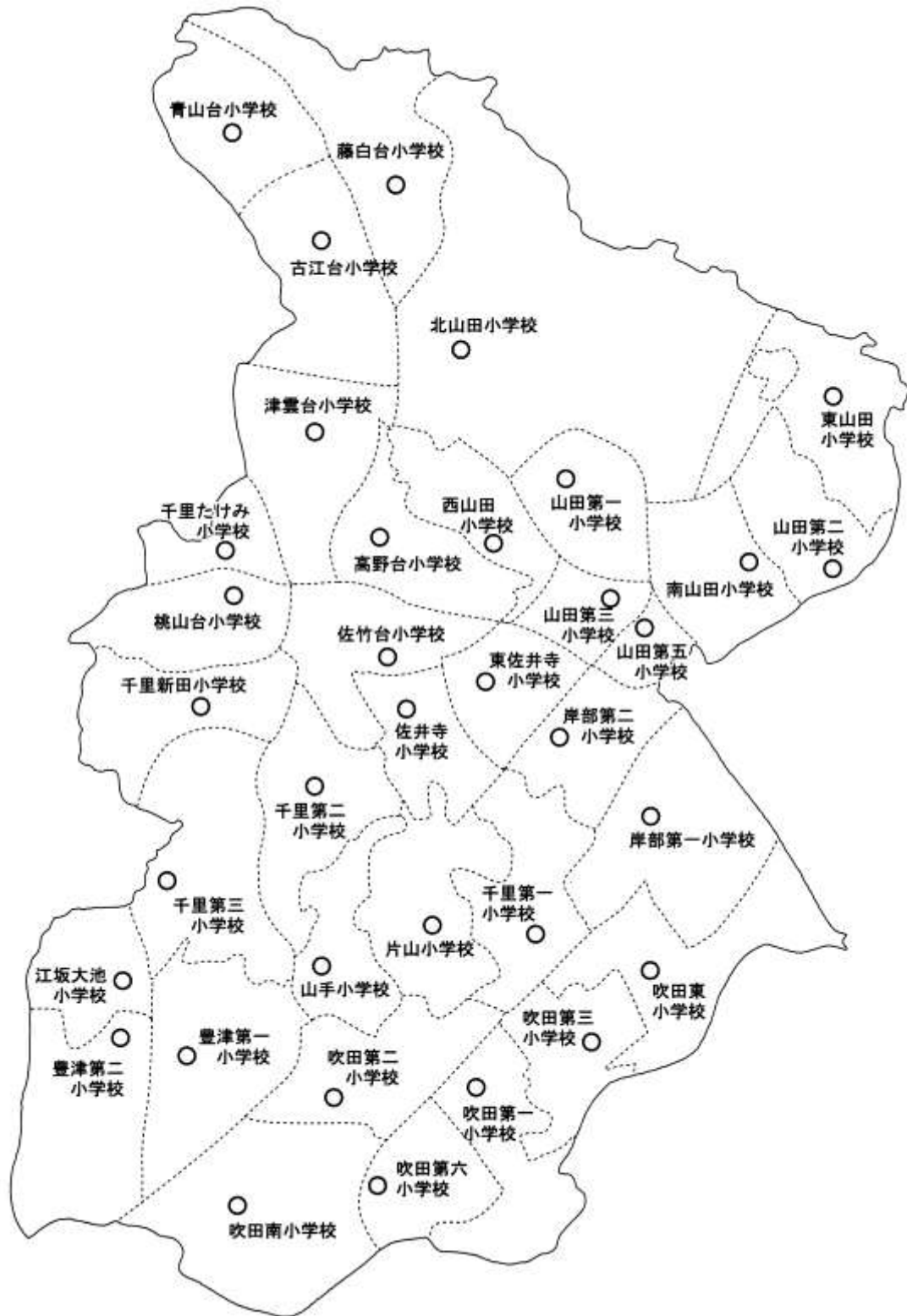
中学校名	生徒数 (人)	学級数	校 地 面 積 (㎡)			校 舎 面 積 (㎡)			屋 内 運 動 場 (㎡)	プ ー ル (m)
			建 物	屋 外 運 動 場	計	鉄 筋	鉄骨その 他	計		
第 一	800	24	13,384	9,765	23,149	7,027	77	7,104	1,054	25 × 15
第 二	353	11	12,869	13,055	25,924	11,760	36	11,796	2,906	25 × 15
第 三	311	12	7,575	12,041	19,616	5,953	128	6,081	1,010	25 × 15
第 五	544	18	6,459	10,747	17,206	5,557	54	5,611	1,065	25 × 15
第 六	567	20	6,156	12,459	18,615	4,974	237	5,211	994	25 × 15
片 山	780	25	12,287	12,480	24,767	7,843	232	8,075	1,011	25 × 15
佐 井 寺	770	23	8,175	10,647	18,822	7,467	158	7,625	1,016	25 × 15
南 千 里	473	16	16,711	12,260	28,971	5,563	150	5,713	1,011	25 × 15
豊 津	707	22	8,598	9,886	18,484	6,345	249	6,594	1,018	25 × 15
豊 津 西	378	15	8,190	8,097	16,287	7,042	192	7,234	1,010	25 × 15
山 田	698	21	6,028	9,524	15,552	5,194	616	5,810	1,023	25 × 15
西 山 田	524	17	9,040	14,248	23,288	5,732	150	5,882	1,010	25 × 15
山 田 東	522	16	8,646	12,404	21,050	6,340	227	6,567	1,018	25 × 15
千 里 丘	776	24	7,974	14,065	22,039	5,413	615	6,028	1,010	25 × 15
高 野 台	299	12	10,530	11,837	22,367	4,678	200	4,878	943	25 × 15
青 山 台	389	13	20,351	19,190	39,541	6,944	179	7,123	968	25 × 15
竹 見 台	171	8	16,251	10,871	27,122	6,316	160	6,476	992	25 × 15
古 江 台	403	14	21,722	21,975	43,697	5,116	153	5,269	995	25 × 15
合 計	9,465	311	200,946	225,551	426,497	115,264	3,813	119,077	20,054	18 校

3 幼稚園 (16園)

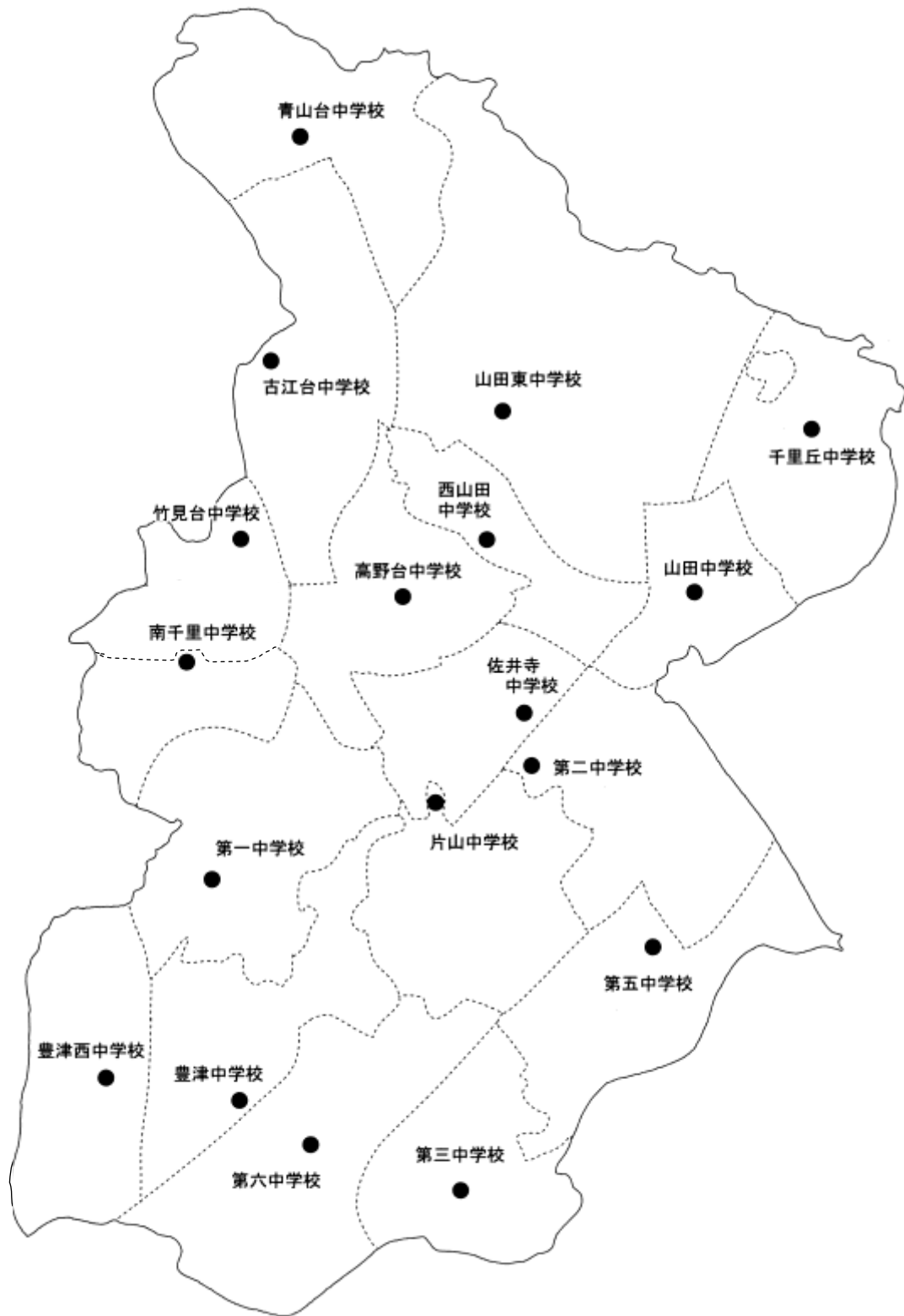
平成26(2014) 5月1日現在

幼稚園名	園児数 (人)	学級数	園地面積 (㎡)			園舎面積 (㎡)			プー ル (m)
			建 物	屋 外 運 動 場	計	鉄 筋	鉄骨 その他	計	
吹田第一	24	2	888	1,127	2,015	686	208	894	5 × 5
吹田第三	27	2	1,258	723	1,981	672	11	683	5 × 5
吹田南	52	2	870	1,128	1,998	728	18	746	5 × 5
千里第二	54	2	991	1,189	2,180	615	11	626	5 × 5
千里新田	51	2	2,275	903	3,178	690	11	701	5 × 5
東佐井寺	90	3	932	1,262	2,194	617	11	628	5 × 5
岸部第一	56	2	1,027	1,072	2,099	794	19	813	5 × 5
豊津第一	63	2	1,099	1,112	2,211	741	10	751	5 × 6
江坂大池	59	2	1,355	703	2,058	664	11	675	5 × 5
片山	65	3	1,242	893	2,135	616	10	626	5 × 5
山田第一	58	2	2,052	1,348	3,400	710	11	721	6 × 3.17
山田第三	46	2	881	748	1,629	774	9	783	7 × 3.5
東山田	95	3	1,533	901	2,434	618	11	629	5 × 5
南山田	81	3	1,002	813	1,815	591	9	600	5 × 5
佐竹台	35	2	4,690	1,201	5,891	271	1,029	1,300	6 × 6
古江台	35	2	1,232	811	2,043	651	38	689	3 × 7.5
合計	891	36	23,327	15,934	39,261	10,438	1,427	11,865	16園

4 市立小学校・校区図



5 市立中学校・校区図



保護者負担の軽減

1 学校図書費の市費負担

市費負担とした時期 昭和44年度(1969年度)

(単位：千円)

年度		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)
区 分				
小 学 校		14,756	13,726	13,606
中 学 校		9,857	9,009	8,496
合 計		24,613	22,735	22,102

2 体育副読本の配布

市費負担とした時期 昭和49年度(1974年度)

(単位：千円)

年度		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)
区 分				
小 学 校		8,761	8,471	2,463
中 学 校		0	0	0
合 計		8,761	8,471	2,463

小学校・幼稚園の安全対策

1 趣旨及び目的

子どもたちの安全確保を目的に、警備員等を配置し、校門付近を常時監視することで、来校園者の受付とチェックを行い、不審者の侵入防止、抑制を図るとともに、緊急時の迅速な連絡体制のとれる安全対策業務を実施する。

2 事業概要

(1) 開始年月日 平成17年(2005年)5月16日

(2) 実施場所 市立小学校35校、市立幼稚園16園

(3) 内 容 民間警備会社等に委託し、校門に警備員又は受付員(各施設1名)を配置

(4) 経 費 (単位：千円)

年度		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)
区 分				
小 学 校		57,257	57,278	57,492
幼 稚 園		10,839	10,863	10,902

各種援助制度

1 市立・私立幼稚園の保護者に対する助成

幼稚園教育の一層の普及充実に努めるため、園児の保護者を対象に、当該年度の市民税額及び世帯状況に応じ、市立幼稚園においては保育料の減免を、私立幼稚園においては補助金を支給し、保護者の経済的負担の軽減に努める。

(1) 市立幼稚園保育料減免制度（4・5歳児が対象）

平成26年度(2014年度)

基 準	減 免 額
生活保護世帯及び市民税非課税世帯	保 育 料 の 全 額
市民税所得割額が非課税の世帯	年 額 63,000円 ※但し、第3子以降は79,000円 (年度途中の入退園の場合は月割)
<第2子>小学校3年生までの兄・姉を含め、第2子となる園児（従来条件、新条件）	一部減免 年額40,000円を減額
<第3子以降>小学校3年生までの兄・姉を含め、第3子以降となる園児 (従来条件、新条件)	一部減免 年額79,000円を減額

(注) 市立幼稚園保育料は月額 10,500円

(2) 私立幼稚園児の保護者に対する助成（満3・3～5歳児が対象）

ア 就園奨励費補助金

イ 保護者補助金

平成26年度(2014年度) 単位：年額 円

区分	基準		補助金支給額合計		補助金内訳			
					試園奨励費	保護者補助金		
			満3・3歳児	4歳・5歳児	満3・3・4・5歳児	満3・3歳児	4歳・5歳児	
A	生活保護世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	308,000	308,000	308,000	0	0
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	308,000	308,000	308,000	0	0
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0
B	市民税非課税世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	229,200	279,300	199,200	30,000	80,100
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	253,000	279,400	253,000	0	26,400
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0
	市民税所得割非課税世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	229,200	253,500	199,200	30,000	54,300
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	253,000	253,000	253,000	0	0
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0
C	市民税所得割額①以下の世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	145,000	126,000	115,200	30,000	10,800
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	211,000	211,000	211,000	0	0
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0
D	市民税所得割額②以下の世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	92,200	113,800	62,200	30,000	51,600
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	185,000	185,000	185,000	0	0
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0
E	市民税所得割額③以下の世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	30,000	66,000	—	30,000	66,000
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	154,000	154,000	154,000	0	0
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0
F	市民税所得割額③を超える世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	15,000	15,000	—	15,000	15,000
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	154,000	154,000	154,000	0	0
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0

(注) 補助金は、小学校1年生から3年生の兄弟がいる場合は、別途基準表により補助金額に変動がある。

市民所得割額の基準額

- ① 市民税所得割額 34,500円に、
16歳未満の不要親族の数×21,300と16歳以上19歳未満の扶養親族の数×11,100円を加えた額
- ② 市民税所得割額171,600円に、
16歳未満の扶養親族の数×19,800と16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円を加えた額
- ③ 市民税所得割額327,300円に、
16歳未満の扶養親族の数×19,800と16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円を加えた額

支給者及び支給総額

年度	区分	就園奨励費		保護者補助金	
		人員	支給額(円)	人員	支給額(円)
平成23(2011)		3,080	286,934,421	5,194	219,235,250
" 24(2012)		2,967	282,814,062	5,227	222,688,246
" 25(2013)		3,070	321,046,735	4,242	170,033,925

2 小・中学校就学援助制度

(1) 実施時期

毎年度4月に受付(期間後も随時受付をするが、認定は受付月からとする。)

(2) 趣 旨

吹田市立小・中学校に在籍する児童・生徒で経済的理由により就学が困難な場合にその保護者に対して学用品費、小学校の学校給食費、修学旅行費、学校保健安全法に定める疾病の治療のための医療費等必要な援助を行う。

(3) 支給対象

申請者の世帯全員の前年分の所得合計額が生活保護基準に基づいて算定したその世帯の生活費の1.2倍以内の者。

(4) 支給者及び支給総額(医療費を含まず。)

年度	区分	小 学 校		中 学 校	
		人員	支給額(円)	人員	支給額(円)
平成23(2011)		4,405	253,256,609	2,479	130,968,454
" 24(2012)		4,135	243,021,717	2,413	128,485,283
" 25(2013)		3,788	223,071,806	2,254	120,961,572

3 高等学校等学習支援金制度

(1) 実施時期

毎年度4月に募集(期間後も随時受付をするが、認定は受付月からとする。)

(2) 趣 旨

高等学校、特別支援学校の高等部、高等専門学校、中等教育学校の後期課程又は専修学校(高等課程)在学中の者で、経済的理由によりその修学が困難な者に対して、学習支援金を支給する。

(3) 支給対象者

市内に居住している者で、世帯の前年分の所得合計額が市民税所得割非課税措置に準ずる所得額以下であり、受給することが適当であるとの学校長推薦が得られる者。

(4) 支給額

月額 4,000円(公・私立での支給額の区別はなし、平成23年度(2011年度)は月額3,000円)

(5) 支給者及び支給総額

年度	平成 23 (2011)	平成 24 (2012)	平成 25 (2013)
支給人員	1,743	892	860
支給総額(円)	60,066,000	40,436,000	39,372,000

学校給食

1 学校給食の実施状況

平成26年(2014年)5月1日現在

区分	学校数	児童数(人)	教職員等数(人)	実施数(人)
小学校	35	20,151	1,424	21,575

(注) 1 パン又は米飯、ミルク、副食の完全給食

2 米飯給食は週2.95回

3 給食形態は自校調理方式

中学校給食

1 平成21年(2009年)1月から3校で給食を開始し、その後年次的に実施校を増やし、平成24年(2012年)2月から全校で給食を実施

2 米飯、副食をランチボックスで、ミルクとともに各校へ配送

3 希望する日を選んで1か月ごとに申し込む選択制

2 学校給食職員数

(1) 保健給食室 7人(室長、参事含む)

(2) 栄養教職員(府費) 19人

(3) 給食調理員 80人

3 給食費

平成26年度(2014年度)

区分	給食回数	1食当たりの単価(円)	月額(円)	年間(円)
小学校	1年生 190	202	3,650	37,914
	2年生 198	202	3,650	40,150
	3・4年生 198	205	3,700	40,700
	5年生 198	208	3,750	41,250
	6年生 196	208	3,750	41,250

(注) 1年生は、4月21日から実施、2～6年生は同9日から実施

中学校給食は、1食300円

進学状況

1 中学校卒業者の進路

平成26年(2014年)5月1日現在(単位:人)

卒業者	進学した者	進学も就職もした者	就職した者	専修・各種学校	その他
3,183	3,142	0	4	38	16

2 高等学校進学状況（全日制）

平成26年(2014年)5月1日現在（単位：人）

区 分	入 学 者						計	
	普通科	総合学科	商業科	農業科	工業科	その他		
大阪府	公立	1,319	107	6	4	68	273	1,777
	国立	1						1
	私立	1,065		1		21	27	1,114
他府県	96		2	3		2	103	
計	2,481	107	9	7	89	302	2,995	

特別支援

1 支援学級の設置校数及び在籍者数

平成26年(2014年)5月1日現在

障がいの種別	設 置 校 数			在 籍 者 数 (人)		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
弱 視	3	0	3	6	0	6
知的障がい	56	19	75	303	82	385
肢体不自由	16	4	20	41	9	50
自閉症・情緒障がい	54	17	71	283	68	351
病 弱	23	6	29	50	8	58
難 聴	4	3	7	13	8	21
計	156	49	205	696	175	871

2 介助員制度

市内支援学級に在籍する児童・生徒の障がいの状況や学校の実態を総合的に考慮し、必要度の高い学校に介助員を配置

平成26年度(2014年度)は51人

3 通学対策

高野台小学校（肢体不自由学級センター校）を対象に3台のリフト付ワゴン車をチャーター

4 機能訓練

高野台小学校（肢体不自由学級センター校）を対象に年35回の機能訓練士による訓練指導の実施

5 その他

- (1) 学校教育研究会支援教育部会行事への補助
- (2) 就学相談、助言等
- (3) 病・虚弱学級（市民病院・小児科病棟院内学級）片山小学校・片山中学校
- (4) 通級指導教室（発達障がい）吹田第二小学校・吹田第三小学校・山田第二小学校・高野台小学校・青山台小学校・豊津第一小学校・千里たけみ小学校・豊津中学校・竹見台中学校内

中学校対外部活動（全国・近畿大会）参加経費の助成

1 実施時期

- (1) 中学校対外運動競技（全国・近畿大会）参加経費の助成
昭和59年（1984年）7月1日から実施
- (2) 中学校対外文化活動コンクール（全国・近畿大会）参加経費の助成
平成2年（1990年）4月1日から実施

2 趣 旨

学校教育活動の一環として開催される国・地方公共団体若しくは学校教育団体の主催又はこれらと関係団体との共催による中学校の対外運動競技又は対外文化活動コンクールのうち、全国・近畿大会に参加する吹田市立中学校の生徒に対して、その経費の一部を助成する。

3 支給対象

大阪府の代表として大会に参加する吹田市立中学校に在籍する生徒で、当該校長の承認を受けた者。ただし、対外運動競技にあっては、団体競技に参加する場合は選手登録された者に限る。

4 支給額

区 分	開催地	金 額
全国大会	近畿圏外	1泊に要する宿泊料実費額の2分の1（3,000円を上限とする）に宿泊数を乗じた額及び往復の交通費の半額（10,000円を上限とする）の合計額
	近畿圏内	1泊に要する宿泊料実費額の2分の1（3,000円を上限とする）に宿泊数を乗じた額及び往復の交通費の半額（2,000円を上限とする）の合計額
近畿大会		1泊に要する宿泊料実費額の2分の1（3,000円を上限とする）に宿泊数を乗じた額及び往復の交通費の半額（2,000円を上限とする）の合計額 ただし、宿泊については教育委員会が必要と認めた場合に限る

(注) 本表の交通費は、市旅費条例により算定した運賃及び旅費とする

学校保健

1 心臓検診

小・中学校1年生全員に一次検査（心電図及び問診表調査）を実施し、一次検査で異常があった者と他学年の校医抽出者等に、二次検査（聴打診及び必要に応じて負荷心電図検査）を実施し、三次検査は国立循環器病研究センターにおいて必要に応じた精密検査を実施している。

(単位：人)

年度	小 学 校			中 学 校		
	第一次検査	第二次検査	第三次検査	第一次検査	第二次検査	第三次検査
平成23(2011)	3,370	680	49	3,119	554	57
〃 24(2012)	3,255	439	38	3,215	481	55
〃 25(2013)	3,244	517	61	3,077	453	49

2 せき柱側わん症検診

小学校5年生及び中学校2年生の内科検診(受診票使用による抽出者)、他学年の抽出者及び前年度経過観察者等を対象に受診票、レントゲン直接撮影等により検診を実施し、せき柱側わん症の早期発見に努める。

(単位：人)

年度	区 分 学 校 別	視 触 診	レントゲン	異常なし	経 過	要指導者	要精検査
		受 診 者	受 診 者		観 察 者		
平成23 (2011)	小学校	148	54	34	14	5	1
	中学校	101	49	16	8	18	7
〃 24 (2012)	小学校	108	31	20	3	6	2
	中学校	89	50	20	4	22	4
〃 25 (2013)	小学校	101	20	11	2	7	0
	中学校	108	36	13	10	12	1

3 子どもの生活習慣病予防検診

小学校5年生及び中学校2年生の調査票抽出者のうちの希望者並びに前年度の受診結果が要指導及び要経過観察の者のうちの希望者を実施している。

(単位：人)

年度	区 分	小 学 校		中 学 校		合 計
		男 子	女 子	男 子	女 子	
平成23(2011)		136	120	70	63	389
〃 24(2012)		159	98	53	60	370
〃 25(2013)		165	105	59	52	381

教育センター

教育センターは、本市の学校教育の向上を図ることを目的として、従来の教育研究所を発展的に拡充した形で設置され、昭和62年(1987年)6月1日から事業を開始した。

1 事業の概要

- (1) 教育に関する専門的な調査・研究
- (2) 教職員の資質を高めるための研修
- (3) 「不登校、学習・発達、友人関係、いじめ、進路・就学、情緒・行動」等の教育相談
- (4) 教育情報の収集・発信

2 施設の概要

位 置	出口町2番1号(男女共同参画センターとの複合施設)		
敷地面積	1,426.93㎡	建築面積 799.00㎡	延べ床面積 2,847.67㎡ (うち教育センター面積 786.12㎡)
構造・規模	鉄筋コンクリート造地下1階地上3階建		
主要施設	3階—事務・研究室、印刷室、検査室、収納室、相談室(2)、 プレイルーム(2)、言語指導室、小会議室、応接室 2階—視聴覚室、情報科学室		
工 費	228,581千円(総工事費 782,100千円のうち教育センター部分)		

3 事業の内容

- (1) 調査・研究
 - ア 研究グループによる調査・研究(所員・スーパーバイザー・研究員の共同研究)
原則月1回研究会を開き、それぞれの研究グループの成果を、研究報告書、教育研究大会等で発表・報告する。
 - (ア) 発達理解研究グループ
 - (イ) ICT活用研究グループ
 - (ウ) 小中一貫カリキュラム研究グループ
 - イ 研究所連盟による調査・研究(共同研究・研究会)
大阪府教育研究所連盟(共同研究部会、教育相談部会、研究発表大会等)
- (2) 教職員研修
 - ア 一般研修講座
 - (ア) キャリアステージにあった研修(初任者研修、フレッシュ研修、ステップアップ研修Ⅰ・Ⅱ、ヤングリーダー研修、10年経験者研修、学校パワーアップ研修)
 - (イ) スクールリーダー研修(首席・指導教諭・主幹・主査)
 - (ウ) 教育課題別研修(新教育課程、教育相談、人権教育、理数教育、危機管理、校内授業研究、国語力向上、キャリア教育、グローバル教育等)
 - (エ) 幼稚園・小学校教育研修

(オ) 教科・領域研修（英語教育研修、授業づくり研修等）

(カ) 専門職等研修（事務職員、養護教諭、栄養教諭、学校図書館担当者）

イ 特別支援教育研修

(ア) 通常の学級支援研修（発達障がいの理解、ユニバーサルデザインについて、特別支援教育コーディネータの役割、個別の指導計画の書き方（ワーク）等）

(イ) 事例研修

ウ 情報教育研修

(ア) 情報リテラシー (イ) 授業活用 (ウ) 課題・専門 (エ) システム管理

エ 吹田市教育研究大会

今日的な教育課題や吹田市の重点施策について講演会等を行う。

オ 研修実施回数、参加人数

平成23年度(2011年度) 193回 延べ 4,918人

〃 24年度(2012年度) 213回 延べ 5,630人

〃 25年度(2013年度) 196回 延べ 5,780人

カ 校内研修支援（中学校パッケージ研修支援）

(3) 教育相談

ア 来所相談

満3歳から18歳（高等学校在学年齢）までの教育上の諸問題について、月曜日から金曜日までと第3日曜日に開設している。時間は午前9時～午後5時（木曜日のみ午後9時まで）。

(単位：回)

来 所 相 談	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)
相 談 回 数 合 計	3,367	3,332	3,551

イ 電話相談（いじめの悩み相談、スクール・セクシュアル・ハラスメント相談）

「いじめのなやみ相談ダイヤル」を開設し、幼児、小・中学生と保護者を対象に、専用電話で、いじめ問題の相談に応じている。月曜日から金曜日までと第3日曜日の午前9時～午後5時。

(単位：回)

電 話 相 談	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)
相 談 回 数 合 計	174	202	224

ウ 不登校児童・生徒への支援活動

(ア) 家庭訪問活動（フレンドの派遣）

家に引きこもっている児童・生徒に対して、学生等のフレンドを派遣し、児童・生徒の話し相手や遊び相手になり、自立に向けた支援を行う。フレンドは週1回2時間程度の訪問を行い、子どもと1対1の人間関係を深めることから出発し、集団の場である「光の森」や「学びの森」、学校等、外出に導く。

(イ)「学びの森」活動

登校は困難だが、外出可能な児童・生徒を対象に、個別対応を中心とした学習支援や活動を行い、学校復帰を目標に人間関係づくりを学ぶ。

(ウ)「光の森」活動

登校は困難だが、外出可能であり、集団活動に入れそうな児童・生徒を対象に、集団での学習や様々な体験活動を行い、学校復帰を目標に社会的自立を図っていく。

(単位：人)

年度 区分	平成23年(2011)			平成24年(2012)			平成25年(2013)		
	光の森	学びの森	家庭訪問活動	光の森	学びの森	家庭訪問活動	光の森	学びの森	家庭訪問活動
小学生	0	0	0	0	2	0	0	1	0
中学生	13	15	1	13	12	4	13	11	3
小計	13	15	1	13	14	4	13	12	3
合計	29			31			28		

エ 学校出張教育相談

児童・生徒、保護者、教職員を対象とし、市内全18中学校にスクールカウンセラー(国・府派遣)を年間35回派遣するとともに、全小学校において、年間30回(6校)、年間18回(26校)、年間25回(半日・1校)、年間35回(2校合わせて)の教育相談員の派遣を行い、幼稚園・小学校・中学校を含めた各中学校ブロックで学校教育相談を実施している。

(単位：回)

出張教育相談 (小学校)	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)
相談回数合計	3,748	2,756	2,847

(単位：回)

スクールカウンセラー (中学校)	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)
相談回数合計	5,090	5,519	4,600

オ 進路選択支援相談

相談窓口の設置、相談員の配置を図り、全ての子どもたちが家庭事情や経済的理由などにより、自己の進路を躊躇、断念することなく、積極的に進路を考え、将来に展望を持たせていくことを支援する。

(4) 特別支援教育の推進

家庭や学校と連携し、「LD、ADHD、ASD」等、発達障がいのある幼児・児童・生徒のニーズに基づき、家庭での配慮、学校における必要な対応、教育プログラム、指導方法を研究しながら、教育支援システムを構築するとともに、実践的な支援活動を行う。

ア 巡回等による学校・園への支援及び学校・園との連携

イ 幼児・児童・生徒の特性及びニーズの把握

- ウ 学校・園及び保護者への指導・助言及び啓発支援
- エ 教職員の指導力養成
- (5) 学校教育情報通信ネットワーク
 - 「教育の情報化」の下、次世代を担う児童・生徒のために、学校・家庭・地域をつなぎ、価値ある情報を分かち合い、学ぶ喜びを感じられる教育の機会を創設する。
 - ア 情報活用能力育成及び交流学习支援
 - イ 学習コンテンツの蓄積・発信・活用支援
 - ウ セキュリティ・フィルタリング・情報モラル等運用・管理支援
- (6) 教育情報の収集・発信
 - ア 教育資料の収集
 - イ センターだより・研究報告書・所報の発行
 - ウ 教育資料の充実・活用

生涯学習の推進

「吹田市生涯学習推進計画－生涯学習の都市づくりをめざして－」(平成7年度(1995年度)策定)を引き継ぐ「第2次吹田市生涯学習推進計画」を平成18年度(2006年度)から実施し、総合的な施策の推進を図っている。

平成20年(2008年)10月には、「いつでも、どこでも、だれでも」生涯学習活動に取り組めるよう支援するとともに、学びを通じて様々な生涯学習活動の契機となり、人生をより豊かにするための教養を深める「学びの場」として「生涯学習吹田市民大学」を開設した。平成21年度(2009年度)からは、「生涯学習吹田市民大学」の特別講座を実施している。また、関西大学、千里金蘭大学、大阪学院大学との大学連携講座を実施している。

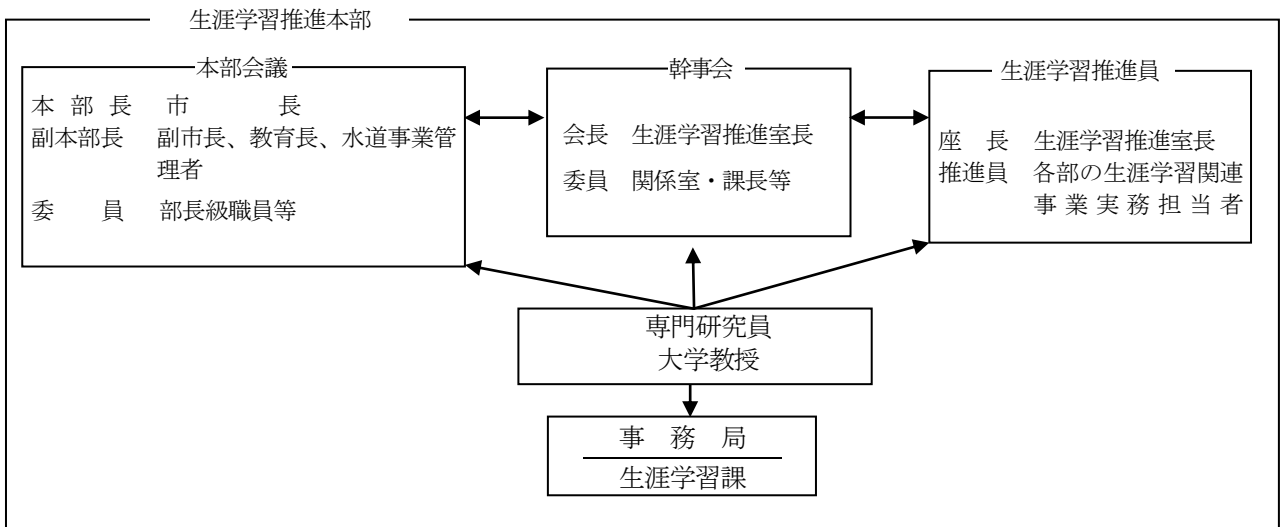
生涯学習施設情報を「ひろがれ」、講座情報を「学びの情報」、人材情報を「ひとの宝箱」、生涯学習活動団体情報を「さ〜くるネット吹田」として生涯学習情報誌の発行を行なうとともに、インターネット上でも同一情報を提供し、生涯学習関連情報の提供の充実を図っている。

市民の皆さんの聞きたい、知りたいという学習意欲に応えるために、市の職員が担当している仕事やこれから取り組もうとしていることについて、出張して話をする吹田市生涯学習出前講座と、山手小学校の地域交流室の開放事業並びに、全ての小学校の多目的教室等を地域の団体に身近な学びや活動の場として開放する小・中学校教室開放事業を実施し、市民の生涯学習の支援を行っている。

1 生涯学習体制の整備

生涯学習推進本部の設置	設置年月日	平成5年(1993年)5月14日
	総括者	本部長：市長 副本部長：副市長、教育長、水道事業管理者
	構成	本部会議：本部長、副本部長、部長級職員等 幹事会：関係室・課長等 推進員：各部の生涯学習関連事業実務担当者
生涯学習推進専門研究員	生涯学習推進本部の所掌事務に関する専門的事項について指導助言を得る。	

<推進体制図>



2 生涯学習吹田市民大学

特別講座

平成25年度(2013年度)

	開催コース名	開催日	受講人数
前期	高齢時代に生きる生活指南塾	6月5日～7月3日5回	33人
後期	地域の防災・減災を考える	11月5日～11月27日4回	25人
公開講座	それでもわが家から逝きたいー 健やかな老いと静かな終末ー	11月8日	75人
春季公開講座	学びと運動はええよ！～ロコモ モティブシンドローム(運動器 症候群)について学ぼう～	3月6日	22人

関西大学講座

生涯学習吹田市民大学関西大学講座は、一般成人を対象として、現代社会を多面的に分析し、文化教養を深めることを目的に、関西大学との共催で昭和47年(1972年)から実施している。

平成25年度 (2013年度)

コース別 テーマ名		期 間	延べ回数・学習時間	延べ参加人数	
前 期	1. 文 学	日本文学と《絵》	6月13日～7月4日	4回・6時間	810人
	2. 工 学	持続可能社会に向けた化学の取組	6月13日～7月4日	4回・6時間	371人
	3. 総 合	日本経済の再生と企業経営の課題	6月14日～7月5日	4回・6時間	599人
	4. 法律・政治	法と政治の新たな動き	6月14日～7月5日	4回・6時間	303人
計			16回・24時間	2,083人	

千里金蘭大学キャンパス講座

生涯学習吹田市民大学千里金蘭大学キャンパス講座は、一般成人を対象として、文化教養を深めることを目的に千里金蘭大学との共催で平成19年(2007年)から実施している。

平成25年度 (2013年度)

テ ィ マ	期 間	延べ回数・学習時間	延べ参加人数
「魂・生命」の古今東西 <small>たましい いのち</small>	11月12日～12月10日	5回・7.5時間	563人

大阪学院大学講座

生涯学習吹田市民大学大阪学院大学講座は、一般成人を対象として、文化教養を深めることを目的に大阪学院大学との共催で平成22年(2010年)から実施している。

平成25年度 (2013年度)

テ ィ マ	期 間	延べ回数・学習時間	延べ参加人数
大阪商人列伝 一連綿と続く大阪商人の心意気を知ろう	10月26日～12月7日	5回・7.5時間	523人

3 情報提供誌等の発行

平成25年度 (2013年度)

もよおしいろいろ	発行月	4月／7月 10月／1月
	発行部数	各10,000部
	規 格	A4版 中とじ (ホッチキス止め)
	配布施設	市の施設及び市内の理容・美容店、郵便局・銀行
	内 容	市や市の財団、その他公的団体等の実施する生涯学習関連の事業を紹介
ひろがれ (学習施設ガイド)	発行月	4月
	発行部数	6,000部
	規 格	A5版 63ページ
	配布先	転入者など
	内 容	一部民間施設を含めた、市内の生涯学習関連施設約270施設を掲載
ひとの宝箱 (人材バンク 登録者名簿)	発行月	8月
	発行部数	100部
	規 格	A4版 24ページ
	閲覧場所	市の施設
	内 容	吹田市生涯学習人材バンク登録者の活動内容、連絡先等
さ〜くるネット吹田 (登録団体名簿)	発行月	8月
	発行部数	100部
	規 格	A4版 77ページ
	配布施設	市の施設
	内 容	グループ・サークルなどの生涯学習活動団体の登録名簿

4 インターネットを使った学習情報提供

「ひとの宝箱」、「吹田市生涯学習出前講座メニュー」、「さ〜くるネット吹田」、「ひろがれ」、「学びの情報」、「もよおいろいろ」の情報を、吹田市ホームページで提供している。

生涯学習人材バンク登録書等、出前講座受講申込書等、さ〜くるネット吹田活動団体登録書等、地域交流室の利用団体登録申込書、利用許可申請書等、小・中学校教室開放事業の団体登録申請書は吹田市ホームページからダウンロードできるようにし、市民の利便性の向上に努めている。

5 地域交流室の開放

平成25年度(2013年度)の利用状況

山手小学校地域交流室 3,774人

6 生涯学習出前講座

平成25年度(2013年度)の実施状況

メニュー数 10分野131講座

実施件数 35件

7 小・中学校教室開放事業

平成25年度(2013年度)末現在の団体登録状況

登録対象学校数 35校

団体登録のある学校数 20校

登録団体数 52団体

8 生涯学習講座

幼児から高齢者まで幅広い市民の方を対象として、学習者が集合して学習を行なう学級・教室などを実施した。

平成25年度(2013年度)

事業名	期間	内容	対象	延回数・学習時間	延参加者数
子育て教室 たんぽぽ	5月31日 ～2月7日	望ましい育児と家庭教育の実現を図るために	3歳～就学前の幼児を持つ親	15回・30時間	217人
子育て教室 ちゅうりっぷ	10月24日 ～12月5日	子育ての基礎知識の習得と育児不安の解消	はじめて親になる人・なった人	7回・14時間	187人
おやこであそぼ	5月27日 ～11月11日	親と子のスキンシップを深めるために	2歳～就学前の幼児とその親	15回・25.5時間	917人
家庭教育学級	5月1日 ～3月31日	家庭教育の大切さを知るために	児童を持つ親	165回・314時間	4,813人
聴言障がい者 教養講座	5月30日 ～2月22日	生活の向上に必要な知識を得るために	聴言障がい者	9回・18.5時間	214人
視覚障がい者 活動講座	5月24日 ～1月31日	生活の向上に必要な知識を得るために	視覚障がい者	10回・20時間	80人
三島地区生涯学習 連携事業	1月31日 ～2月28日	地域を再発見してもらうために	一般	5回・7.5時間	403人

公 民 館

1 公民館利用状況

公民館の使用料は原則として無料とし、住民の学習並びに交流の場としている。

(人口は各年度3月31日現在)

年 度	人 口 a (人)	延 べ 利用状況 b (件)	延 べ 利用者数 c (人)	利 用 率 c/a×100(%)	講 座 参加者数 d (人)	受 講 率 d/c×100(%)
平成23(2011)	354,053	30,268	375,175	106.0	61,994	16.5
〃 24(2012)	356,768	29,867	354,600	99.4	51,084	14.4
〃 25(2013)	360,007	31,299	398,759	110.8	49,841	12.5

2 施設の概要

(平成26年(2014年)11月16日現在)

公 民 館 名	所 在 地	供 用 開 始	延べ床 面 積 (㎡)	構 造 ・ 規 模
吹一地区公民館	内本町3-19-21	昭和36(1961).12.13	185	R.C 2階建
吹一地区公民館さんくす分館	朝日町3-505	平成16(2004).5.1	96	R.C 5階建5階部分の一部
山二地区公民館	千里丘下23-19	昭和36(1961).12.13	412	R.C 2階建
吹三地区公民館	高城町19-7	〃 38(1963).9.1	272	〃
岸一地区公民館	岸部中3-20-1	〃 39(1964).5.1	412	〃
千一地区公民館	原町2-12-2	〃 40(1965).5.1	472	R.C 3階建1・2階部分
山一地区公民館	山田東2-33-1	〃 42(1967).6.1	399	R.C 2階建
山手地区公民館	山手町1-8-15	〃 43(1968).4.1	205	〃
南吹田地区公民館	南吹田5-8-24	〃 43(1968).9.1	220	〃
吹二地区公民館	泉町3-15-29	〃 44(1969).2.1	424	〃
豊一地区公民館	垂水町3-15-35	〃 46(1971).4.1	454	R.C 4階建
千二地区公民館	千里山東2-19-23	〃 47(1972).11.1	400	R.C 2階建2階部分
吹田東地区公民館	吹東町3-6	〃 49(1974).12.25	332	R.C 3階建
山三地区公民館	山田西1-26-2	〃 53(1978).2.1	338	R.C 2階建
南千里地区公民館	津雲台1-2-1	〃 54(1979).2.1	1,028	R.C 8階建7階部分
千三地区公民館	千里山西1-12-1	〃 54(1979).5.1	352	R.C 2階建
岸二地区公民館	岸部北4-15-20	〃 55(1980).5.1	346	〃
南山田地区公民館	山田市場18-6	〃 55(1980).5.1	362	〃
北千里地区公民館	古江台4-2-D7	〃 56(1981).3.1	744	〃
豊二地区公民館	豊津町47-1	〃 56(1981).5.1	341	〃
吹六地区公民館	南清和園町40-1	〃 56(1981).5.1	350	R.C 3階建
西山田地区公民館	山田西2-5-1	〃 57(1982).5.1	341	R.C 3階建2階部分
東山田地区公民館	新芦屋上32-1	〃 58(1983).5.1	362	R.C 2階建
片山地区公民館	朝日が丘町15-1	〃 59(1984).5.1	380	R.C 3階建2階の一部及び3階部分
江坂大池地区公民館	江坂町3-63-6	〃 60(1985).5.1	360	R.C 2階建
東佐井寺地区公民館	五月が丘西5-1	〃 61(1986).5.1	380	〃
北山田公民館	山田東4-43-20	〃 61(1986).5.1	361	〃
佐井寺地区公民館	佐井寺南が丘1-1	〃 62(1987).5.1	359	〃
千里新田地区公民館	千里山西6-30-41	〃 62(1987).5.1	360	〃
山五地区公民館	山田南45-13	平成元(1989).5.1	362	〃

3 地区公民館の事業

(1) 地区公民館文化祭

日頃の公民館活動の成果を発表する場として、また、地域文化の向上を期して、地区の特色をい
かしながら、全 29 館で文化の日を中心に実施した。

内 容

- ・ 作品展示……写真、絵画、書道、木彫、七宝焼、押し絵、ちぎり絵、アートフラワー、編物、
洋裁、和裁、生け花、盆栽、陶芸、その他
- ・ 演芸発表……詩吟、民謡、コーラス、カラオケ、歌体操、大正琴、その他

来館者数 延べ 39,527 人

(2) 地区公民館主催講座

講習会や講演会を始め、社会見学や軽スポーツなど地域住民の求めにこたえた講座を実施した。

講座開催回数 延べ 1,857 回 受講者数 延べ 49,841 人

(3) グループ活動

住民の自主的な文化・学習のグループ活動が各館で活発に行われた。(書道、絵画、詩吟、琴、ジャ
ズダンス、ヨーガ、洋裁、和裁、レザークラフト、刺しゅう、その他)

図 書 館

平成25年度(2013年度)の市民一人当たりの図書費は190円、蔵書数は2.71冊、貸出数は図書8.77
冊、視聴覚資料を含んだ貸出点数は9.68点である。

1 蔵書及び利用状況

(1) 図書資料(団体貸出 50,483冊を除く)

平成25年度(2013年度)

館別	種別	蔵書数(冊)			貸出数(冊)			開館(室) 日数
		一般書	児童書	計	一般書	児童書	計	
中 央		189,484	58,784	248,268	168,393	136,069	304,462	338
千 里		54,772	25,509	80,281	306,228	169,799	476,027	339
さ ん く す		52,550	23,946	76,496	213,523	97,909	311,432	341
江 坂		37,255	16,873	54,128	222,724	110,267	332,991	339
千里山・佐井寺		208,621	47,916	256,537	245,524	194,651	440,175	339
千 里 丘		39,245	17,543	56,788	227,721	177,821	405,542	342
山 田 駅 前		56,736	19,966	76,702	270,108	136,925	407,033	341
北 千 里		20,902	12,705	33,607	123,750	60,369	184,119	344
山 田		38,163	15,890	54,053	151,311	97,918	249,229	342
自動車文庫		14,697	22,900	37,597	25,327	21,100	46,427	174 (運行日数)
合 計		712,425	262,032	974,457	1,954,609	1,202,828	3,157,437	

- (注) 1 図書館では1人につき15冊まで2週間を限度に貸出しを行っている。
2 登録者数は116,664人。

3 貸出冊数には紙芝居・雑誌を含む。

4 貸出冊数は個人貸出のみとする。

(2) 視聴覚資料

(単位：点)

種別 館別	蔵書数 (点)					貸出数 (点)				
	ビデオ	DVD	CD	カセット	LD	ビデオ	DVD	CD	カセット	LD
千里	1	2,088	5,176	0	0	450	27,258	47,739	31	0
さんくす	3,058	896	16,126	2,069	110	2,889	13,923	33,795	1,227	0
江坂	1,291	741	8,187	0	0	2,429	13,555	29,337	8	0
千里山・佐井寺	1,775	1,192	7,840	1	0	3,409	13,315	28,927	16	0
千里丘	0	1,010	3,772	0	0	90	10,425	27,370	23	0
山田駅前	0	2,267	5,562	0	0	130	22,484	27,308	24	0
上記以外の館	6	38	14	6	0	376	5,422	14,313	156	0
合計	6,131	8,232	46,677	2,076	110	9,773	106,382	208,789	1,485	0

2 中央図書館

位置	出口町18-9	工費	390,744千円
敷地面積	4,814.6 m ²	財源内訳	国庫補助金 15,000千円
建築面積	857.0 m ²		府補助金 15,000千円
延べ床面積	3,392.3 m ²		地方債 246,000千円 一般財源 114,744千円
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上4階建	特長	図書の貸出業務だけでなく、参考業務、各種行事等にも力を注いでいる。視覚障がい者用対面朗読室や自習室(176席)を設置している。
開館年月日	昭和46年(1971年)11月25日		

3 分館・分室

(1) 千里図書館

位置	津雲台1-2-1	工費	} PFI方式による。
敷地面積	2,900.66 m ²		
建築面積	2,440.2 m ²	財源内訳	
延べ床面積	図書館部分は 930.94 m ²		
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造 地上8階塔屋1階、地下2階建(千里ニュータウンプラザ)の3階部分	特長	対面朗読サービスや外国語資料の収集と貸出しを含む貸出し中心のサービスを行っている。また、視聴覚(AV)コーナーを設置している。
開館年月日	昭和24年(2012年)9月3日 以前は市民センタービル内で昭和53年(1978年)4月1日に開館		

(2) さんくす図書館

位 置	朝日町3-501	特 長	視聴覚(AV)コーナーや視覚障がい者用対面朗読室を設置している。
延べ床面積	883 m ²		
開館年月日	平成5年(1993年)7月1日		
工 費	61,800千円		
財源内訳	全額一般財源		

(3) 江坂図書館

位 置	江坂町1-19-1	工 費	265,194千円
敷地面積	23,258.0 m ² (江坂公園駐車場、江坂公園自転車駐車場、江坂花とみどりの情報センター、江坂市民サービスコーナーとの複合施設)	財源内訳	全額一般財源
建築面積	385.38 m ²	特 長	視聴覚(AV)コーナーや視覚障がい者用対面朗読室を設置している。
延べ床面積	図書館部分は 511.57 m ²		
構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下2階塔屋1階建の地下1階部分		
開館年月日	平成8年(1996年)4月1日		
江坂分室として、昭和58年(1983年)4月17日に開室			

(4) 千里山・佐井寺図書館(愛称:ちさと)

位 置	千里山松が丘25-2	総事業費	1,760,804千円(平成12年度(2000年度)~15年度(2003年度)) うち、建設事業費用等1,437,861千円
敷地面積	2,627.22 m ²		
建築面積	1,353.10 m ²	財源内訳	府補助金 51,500千円 地方債 941,000千円 その他 35,865千円 一般財源 732,439千円
延べ床面積	3,327.58 m ² 東館 2,312.38 m ² 西館 833.09 m ²		
構造・規模	東館 鉄筋コンクリート造一部 鉄骨造地上3階建 西館 木造地上2階建	特 長	木造校舎を復元した西館と集密書庫(19万冊収容)を備えた東館からなり、インターネットを使用した電子情報サービスや、「録音図書」の貸出しを含め、録音室・点字室・視覚障がい者用対面朗読室を設けた障がい者サービスを行っている。また、視聴覚(AV)コーナーを設置している。
工 期	平成14年(2002年)9月26日~ 平成15年(2003年)12月26日		
開館年月日	平成16年(2004年)5月19日		

(5) 千里丘図書館

位 置	千里丘上 14-33	工 費	298,015 千円 (平成 22 年度 (2010 年度) ~24 年度 (2012 年度))
敷地面積	721.91 m ²	財源内訳	地方債 200,300 千円 一般財源 97,255 千円 その他 460 千円
建築面積	432.33 m ²		
延べ床面積	840.37 m ²	特 長	インターネットや視聴覚 (AV) コーナー、対面朗読室を設置している。
構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上 2 階建		
開館年月日	平成 25 年 (2013 年) 1 月 9 日		

(6) 山田駅前図書館

位 置	山田西 4-2-43	工 費	548,699 千円
敷地面積	2,348.32 m ² (青少年活動サポートプラザ、のびのび子育てプラザとの複合施設)	財源内訳	地方債 168,400 千円 一般財源 380,299 千円
建築面積	1,319.50 m ²		
延べ床面積	図書館部分は 1,232.79 m ²	特 長	インターネットや視聴覚 (AV) コーナー、視覚障がい者用対面朗読室を設置している。
構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下 2 階地上 7 階建の地下 1 階・2 階部分		
開館年月日	平成 23 年 (2011 年) 3 月 27 日		

(7) 千里図書館 北千里分室

位 置	古江台 4-2 D7	工 費	千里ニュータウン完成記念事業の一環として大阪府が建設し、吹田市へ移管
敷地面積	786.9 m ² (北千里地区公民館との複合施設)		
建築面積	464.4 m ²	財源内訳	府 費
延べ床面積	図書館部分は 155 m ²	特 長	午前 10 時~午後 6 時に開室しており、貸出中心のサービスを行っている。
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上 2 階建の 1 階部分		
開室年月日	昭和 56 年 (1981 年) 4 月 1 日		

(8) 山田駅前図書館 山田分室

位 置	山田西2-5-1	工 費	99,540 千円
敷地面積	810.0 m ² (山田出張所、西山田地区公民館との複合施設)	財 源 内 訳	全額一般財源
建築面積	452.9 m ²	特 長	貸出し中心のサービスを行っている。
延べ床面積	図書館部分は 379.82 m ²		
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上3階建の3階部分		
開館年月日	昭和62年(1987年)4月1日		

4 自動車文庫

- (1) 昭和44年(1969年)9月、本館から1.5km以遠を対象に積載2,200冊の車1台で開始した。
- (2) // 48年(1973年)9月、1台増車して2台とし、巡回地点を62か所とした。
- (3) // 53年(1978年)4月、千里図書館の開館により巡回地点を48か所とした。
- (4) // 58年(1983年)4月、江坂分室の開室により巡回地点を40か所とした。
- (5) // 62年(1987年)4月、山田図書館の開館により巡回地点を34か所とした。
- (6) 平成3年(1991年)5月、巡回地点を36か所とした。
- (7) // 5年(1993年)7月、さんくす図書館の開館により巡回地点を35か所とした。
- (8) // 6年(1994年)9月、図書館が整備され巡回地点を30か所にしたことにより1台減車した。
- (9) // 10年(1998年)4月、巡回地点を31か所とした。
- (10) // 15年(2003年)1月、巡回地点を32か所とした。
- (11) // 16年(2004年)5月、巡回地点を31か所とした。
- (12) // 16年(2004年)6月、千里山・佐井寺図書館の開館により巡回地点を27か所とした。
- (13) // 16年(2004年)9月、巡回地点を30か所とした。
- (14) // 18年(2006年)9月、排ガス規制により車輛を更新。キャラクターを“ごりまる”に変更した。
- (15) // 19年(2007年)12月、巡回地点を31か所とした。
- (16) // 23年(2011年)4月、山田駅前図書館の開館により巡回地点を29か所としたが、5月に2か所増やし31か所とした。
- (17) // 23年(2011年)11月、巡回地点を30か所とした。
- (18) // 25年(2013年)1月、千里丘図書館の開館により、巡回地点を24か所とした。

5 主な行事

市民に親しみやすい図書館を目指して、平成25年度(2013年度)では次の行事等を行った。

子どもと本の講座、子どもと本のまつり、おはなし会、夏休み文庫等特設コーナーの設置、夏のおたのしみ会、秋のおたのしみ会、冬のおたのしみ会、春のおたのしみ会、図書館講座じゅずつなぎ、ビブリオバトル(知的書評合戦)

文化財保護課

1 博物館

地域の文化財を調査・研究して、収蔵・保管し、地域の歴史の中に取り入れて公開・展示を行う。

(1) 施設概要

位 置	岸部北4丁目10番1号
敷地面積	9,007.04㎡ 建築面積 2,189.7㎡ 延べ床面積 3,297.9㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造3階建塔屋1階
総事業費	3,489,094千円
開 館	平成4年(1992年)11月15日
主な施設内容	1階 荷解室、燻蒸室 2階 講座室、一般収蔵庫、特別収蔵庫(1・2)、資料整理室、研究室、 写場・暗室・録音室、保存処理室、資料保管室、和室鑑定室 3階 第1展示室、第2展示室、特別展示室、図書・ビデオコーナー

2 博物館事業

(1) 特別展 (春季)

名 称	平成25年度(2013年度)春季展示 『大僧正行基展 なぜ菩薩とよばれたか』
開催期間	平成25年(2013年)4月20日～6月2日
展示の主題	奈良時代、民衆への仏教布教や社会事業に尽力した僧行基は吹田においても垂氷(垂水)の布施屋や次田(吹田)堀川を造り、佐井寺・常光円満寺・観音寺などは行基ゆかりの寺院と伝えられている。当初行基は朝廷より軽んじられ、その活動を禁止されもしたが、後には東大寺の造営に関わり、大仏建立に尽力し、大僧正となって人々から菩薩と慕われた。こうした行基の活動の源泉について様々な美術作品・文献資料や発掘成果などの最新の調査研究成果を展示した。
資料収集範囲	大阪府 奈良県 兵庫県 京都府
収集件数	24件
資料出陳点数	98点

関連イベント

開会式、講演会、博物館トーク、展示解説、展示クイズ、解説会、演奏会、体験イベントなど
全28回 総参加者数 計1,490名

(2) 第1回企画展

名 称	平成25年度(2013年度)1回企画展 『吹田村庄屋 気比家絵画展』
開催期間	平成25年(2013年)6月15日～7月7日
展示の主題	旧吹田村庄屋の気比家から寄贈された近世から近代にかけて吹田や大阪にゆかりのある絵画作品を旧気比家住宅である浜屋敷を管理する吹田歴史文化まちづくり協会と連携し、展示した。
資料収集範囲	大阪市
収集件数	1件
資料出陳点数	37点

関連イベント

開会式、歴史講座、座談会、展示解説、フォーラム、ギャラリートーク、体験イベントなど
全9回 総参加者数 計249名

(3) 夏季展示

名 称	平成25年度(2013年度)夏季展示『あそび大はっけん～みんなで博物館に行こう～』
開催期間	平成25年(2013年)7月20日～8月25日
展示の主題	子供の遊びを通して、身のまわりの環境(=暮らし)について考えることを主題とした。虫取り・魚取り・草笛・木や竹のおもちゃなどかつての子ども遊びは、生活の中に豊かにあった自然と深く関わっていたが、現代の子供たちの遊びはテレビやパソコンでのゲームが主流となり、デジタル社会を反映しているともいえる。こうした過去と現在の遊びの変化を追う中で、子供たちを取り巻く問題を提起し、自然や環境問題を考える契機となることを目的に展観した。
資料収集範囲	東京都 大阪市、島本町
収集件数	6件
資料出陳点数	213点

関連イベント

開会式、講演会、演劇、工作・体験イベント、コンサート、見学会など
全26回 総参加者数 計2,403名

(4) 第2回企画展

名 称	平成25年度(2013年度)第2回企画展『さわって楽しむはくぶつかん in すいた』
開催期間	平成25年(2013年)9月8日～9月29日
展示の主題	博物館実習生による収蔵品を使った実習展を兼ねて、展示資料を触覚など五感を活用して鑑賞する展示手法を取り入れ、視覚障がい者、高齢者、児童の利用といったバリアフリーの方向性を探る展示を目指した。
資料収集範囲	吹田市、千葉県
収集件数	4件
資料出陳点数	99点

関連イベント

講演会、演奏会、ギャラリートーク、展示解説、体験イベントなど
全17回 総参加者数 計947名

(5) 特別展(秋季)

名 称	平成25年度(2013年度)秋季特別展 吹田操車場開業90年・名神高速道路開通50年記念「交通の20世紀ー吹田操車場と名神高速ー」
開催期間	平成25年(2013年)10月12日～12月1日
資料収集範囲	大阪府 京都府 兵庫県 吹田市
収集件数	26件
資料出陳点数	213点

関連イベント

講演会、ギャラリートーク、コンサート、人形劇、体験イベント、見学会など
全24回 総参加者数 計2,499名

(6) 講演会

2回 聴講者数 計 118名

(7) 歴史講座(本館学芸員・技師による歴史・郷土史講座)

5回 聴講者数 計 256名

(8) その他の講座・研修事業

自然環境講座 1回 参加者数 53名

親子体験講座 1回 参加者数 63名
 古文書を読む会 4回 参加者数 計 111名
 地球環境基礎講座6回 参加者数 計 141名
 魅力再発見 西国街道 (歴史街道推進協議会との連携) 吹田郷土史研究会との共催
 2回 参加者数 計 92名
 北大阪ミュージアムネットワーク事業
 北大阪ミュージアムメッセ・シンポジウム 全2回 参加者数 3,315名
 バックヤードツアー 1回 参加者数 12名
 大学博物館館園実習 11日間 受講生 延べ91名
 発展途上国博物館担当官への博物館技術研修 5日間 受講生延べ52名
 学芸員インターシップ 11日間 受講者数 延べ14名
 小中学校教諭対象 バスで巡る吹田の歴史探訪 参加者数 15名
 豊津中学校 社会教諭との博物館利用に関する研究会 2回

(9) 学校教育との連携事業

特別企画『むかしのくらしと学校』開催 見学学校数 29校

開催期間	平成25年(2013年)12月10日～平成26年(2014年)4月6日
展示の主題	小学校3年生の「くらしのうつりかわり」をテーマとして、数十年前の暮らしを、衣・食・住の資料から再現して、先人の生活の知恵と工夫を学ぶとともに、学校の教材・教科書・給食材・遊具などにより、昔の学校生活と遊びの様子を学習する。

出前授業 7校 受講生数 計 781名
 関連事業 体験イベント5回 参加者数 計 426名
 特別企画説明会及び懇談会 1回 参加者数 34名
 職場体験学習 市内中学校 11校 参加者数 延べ 71名
 吹田高校 高博連携事業 地域社会研究講義 6回 聴講者数計101名

(10) 出張展示

「岸部の歴史とむかしのくらし」(会場 クリエイティブセンター)
 「ラコルタかえっこバザール」(会場 市民公益活動センター)

(11) 常設展示事業

ア 第1展示室

展示の主題	吹田の原始・古代から近代・現代までのあゆみを、時代を追って展示・解説した通史展示室
展示の資料	市内を中心とした考古資料・古文書・民俗資料・美術工芸資料など約650点・移築資料2点
その他の資料	パネル43点・模型12点・レプリカ11点・ビデオガイド4台

イ 第2展示室

展示の主題	千里丘陵の良質な粘土を素材として、大規模に展開した古代の須恵器生産や瓦の生産を学習するテーマ展示室
展示の資料	古墳時代須恵器・古代宮殿用瓦・近世～近代瓦の生産資料など約150点・移築遺構(窯跡)1点・パネル掲示板5点・体験コーナー「宮殿の瓦を葺こう」
その他の資料	パネル17点・模型5点・レプリカ3点・ビデオガイド4台

ウ その他の展示（ロビー展示）

展示の名称	古代飾り馬
開催期間	常設（特別展開催期間を除く）
展示の主題	市内新芦屋古墳出土古代馬具を復元し、古代馬体荷装着して飾り馬を再現した
展示の資料	復元馬具一式・古代馬(天然記念物御崎馬の複製)・黒御影石台座付

展示の名称	アサヒビール木製貯酒樽
開催期間	常設
展示の主題	明治25年に操業開始した大阪麦酒吹田村醸造所(現アサヒビール吹田工場) で使われていた熟成用貯酒樽を関連写真や煉瓦と展示。
展示の資料	木製貯酒樽・醸造棟使用煉瓦1点・写真3点

展示の名称	山田銅鐸復原
開催期間	常設
展示の主題	山田出土銅鐸を正確に模した鋳型を造り、弥生時代の合金成分比に合致した青銅によって、銅鐸を忠実に再現した。内部は舌(ぜつ)があり、振り動かすと2000年前の音色を聞くことができる。
展示の資料	復原銅鐸1点・黒御影石製台座付き

展示の名称	日本万国博覧会会場模型
開催期間	常設
展示の主題	昭和45年(1970年)に千里丘陵で開催された史上最高の入場者を集めた万国博覧会の2000分の1の会場模型

展示の名称	千里ニュータウンの集合住宅流し台
開催期間	常設
展示の主題	1960年代の公団住宅に採用されたステンレス流し台の標準タイプである「公共住宅流し台(KJ流し台)」。千里ニュータウンの集合住宅のほとんどで導入された。

展示の名称	応接室ギャラリー
開催期間	常設
展示の主題	西村公朝作彫刻 3点 村居正之作絵画 2点

(12) 資料収集

分野	寄贈	寄託	購入
歴史資料	3件 (3,519点)	1件 (672点)	9件 (18点)
民俗資料	2件 (4点)	0件 (0点)	0件 (0点)
美術資料	0件 (0点)	0件 (0点)	1件 (1点)
考古資料	1件 (145点)	0件 (0点)	0件 (0点)

(13) 資料調査など

分野	内 容
特別展など 展示関連調査	行基関連資料調査、西尾家美術品調査、悪水井路関連史料調査、触れる資料（バードカービング）調査、日本道路公団関連資料、操車場関連資料調査、名神高速道路関連資料、はきもの資料調査、五反島出土瓦調査
その他の調査	中西家・佐井寺美術品調査
資料整理	市内古写真の収集及びデータベース化、館所蔵近世・近現代資料の整理・館蔵民具整理

(14) 資料保存処理

名 称	回数	内 容	効 果
収蔵庫環境維持管理 モニター調査	2回	昆虫等生息調査・空中浮遊真菌類調査・室内塵埃中小動物調査	収蔵庫資料の虫菌害防除のため館内の保存環境維持管理に役立てるデータ調査
密閉燻蒸	2回	燻蒸室での密閉燻蒸処理	新規収集資料の殺菌・殺虫・殺卵処理

(15) 刊行物

名 称	版・頁・部数	刊 行 日
博物館だより No. 54	A 4・8頁3,000部	平成25年(2013年)7月10日
博物館だより No. 55	A 4・8頁3,000部	〃 9月20日
秋季特別展交通の20世紀一吹田操車場と名神高速展図録	A 4・32頁1,200部	〃 10月12日
博物館だより No. 56	A 4・8頁3,000部	〃 12月20日
博物館だより No. 57	A 4・12頁3,000部	平成26年(2014年)3月10日
吹田市立博物館 館報第14号	A 4・68頁 800部	〃 3月28日
春季特別展 近代趣味人の美意識一第11代西尾與右衛門の世界展図録	A 4・60頁 900部	〃 3月31日
中学校歴史教材 吹田の歴史に触れてみよう	A 4・8頁2,000部	〃 3月31日

(16) ボランティア活動

名 称	内 容	日 数	参加人数
博 物 館 ボ ラ ン テ ィ ア	特別企画の企画・造作、指導解説、その他博物館主催事業の補助	153日	延べ1,116名
喫 茶 ミ リ カ	入館者への喫茶サービス	28日	延べ 110人

(17) 平成25年度(2013年度)利用状況

来館者数

(開館日数 295日) (単位：人)

観 覧 者	一 般	高齢者	高校・大学生	小・中学生	その他	合 計
	3,757	920	199	168	10,057	15,101
講 座 等 受 講 者						19,254
合 計						34,355

3 文化財保護業務

埋蔵文化財包蔵地における土木工事に係る発掘調査等の文化財保護業務を行う。

(1) 指定文化財及び登録文化財

アー1 文化財保護法で指定されているもの

種別	指定又は登録年月日	名称	員数	所在地	所有者又は保管者	備考
史跡	昭和46年6月23日 (1971年)	吉志部瓦窯跡	1群	岸部北4丁目	吹田市 吉志部神社	平安初期 瓦窯跡群
〃	昭和55年3月24日 (1980年)	七尾瓦窯跡	1群	岸部北5丁目	吹田市 個人	奈良時代 瓦窯跡群
重要文化財	昭和36年2月17日 (1961年)	石枕	1個	山手町3丁目	関西大学 文学部	天理市 柳本町出土 (蛇紋岩製)
〃	昭和39年5月26日 (1964年)	河内国府遺跡出土 品 石製球状耳飾 ほか	21個	山手町3丁目	関西大学 文学部	藤井寺市 国府出土
〃	平成21年12月8日 (2009年)	旧西尾家住宅 主屋ほか	7棟	内本町2丁目	国 (管理団体) 吹田市	近代大型 和風建築
重要有形民俗文化財	昭和30年2月3日 (1955年)	おしらさま コレクション	33体	千里万博公園 10番1号	国(国立民族学 博物館保管)	
〃	昭和30年2月3日 (1955年)	背負運搬具 コレクション	62点	千里万博公園 10番1号	国(国立民族学 博物館保管)	

アー2 文化財保護法で登録されているもの

種別	登録年月日	名称	員数	所在地	所有者又は保管者	備考
登録有形文化財	平成14年2月14日 (2002年)	千里寺本堂	1棟	千里山西1丁目	千里寺	昭和初期の大 嘗祭建物(饗 宴場)の一部
〃	平成14年6月25日 (2002年)	大光寺太子館	1棟	岸部中5丁目	大光寺	昭和初期の和 洋折衷の仏堂
〃	平成15年7月1日 (2003年)	中西家住宅 主屋 ほか	7棟	岸部中4丁目	吹田市 個人	江戸後期・明 治の大型民家 建築
〃	平成16年6月9日 (2004年)	榎・家住宅 主屋 ほか	6棟	豊津町	個人	江戸末期・明 治の大型民家 建築

種別	登録年月日	名称	員数	所在地	所有者又は 保管者	備考
登録有形 文化財	平成18年10月18日 (2006年)	岡田家住宅	1棟	千里山西5丁目	個人	昭和初期の 郊外型住宅
〃	平成18年10月18日 (2006年)	亘家住宅 主屋ほか	5棟	内本町2丁目	個人	江戸中期・後 期、明治の大 型民家建築
〃	平成19年7月31日 (2007年)	関西大学簡文館	1棟	山手町3丁目	関西大学	昭和初期の 図書館建築
〃	平成23年6月27日 (2011年)	本山彦一蒐集 考古資料	18,945点	山手町3丁目	関西大学	
登録 記念物	平成25年8月1日 (2013年)	旧中西氏庭園		岸部中4丁目	吹田市 個人	近世後期～近 代に造営・改 修された庭園
〃	平成25年8月1日 (2013年)	旧西尾氏庭園		内本町2丁目	国	明治～大正時 代に造営・改 修された庭園

イ 大阪府文化財保護条例で指定されているもの

種別	指定年月日	名称	員数	所在地	所有者又は 保管者	備考
有形 文化財	昭和45年2月20日 (1970年)	圓照寺木造 准胝観音立像	1軀	山田東3丁目	圓照寺	平安時代前期
〃	昭和45年2月20日 (1970年)	佐井寺木造 地藏菩薩立像	1軀	佐井寺1丁目	佐井寺	平安時代前期
有形 文化財	昭和47年3月31日 (1972年)	紫雲寺本堂 内陣鳥獣図	82面	山田東2丁目	紫雲寺	江戸時代
〃	昭和49年3月29日 (1974年)	圓照寺木造 観音菩薩立像	2軀	山田東3丁目	圓照寺	平安時代前期
〃	平成3年3月29日 (1991年)	新芦屋古墳 出土馬具	一括	岸部北4丁目	吹田市 教育委員会	古墳時代後期
〃	平成23年1月14日 (2011年)	山田伊射奈岐 神社本社本殿	1棟	山田東2丁目	伊射奈岐神社	江戸時代、 17世紀後半
有形 民俗 文化財	平成21年1月16日 (2009年)	玩具および 関連世相資料 (多田コレクション)	一括	千里万博公園 10番1号	国立民族学 博物館	平成25(2013) 年3月11日、 所在地及び 所有者変更
史跡	平成5年3月31日 (1993年)	吉志部瓦窯跡 (工房跡)		岸部北4丁目	吹田市	平安時代初期

種別	指定年月日	名称	員数	所在地	所有者又は 保管者	備考
無形文化財	平成26年4月30日 (2014年)	三好正豊 (三好光正)	1件	日の出町		鍛金

ウー1 吹田市文化財保護条例により指定されているもの

種別	指定年月日	名称	員数	所在地	所有者又は 保護団体	備考
有形文化財	平成10年9月30日 (1998年)	絹本著色 妙音天像	1幅	山田東3丁目	圓照寺	鎌倉時代末期
〃	平成18年5月23日 (2006年)	中西家住宅 附木槌ほか	9棟	岸部中4丁目	吹田市 個人	内、7棟国登録 有形文化財
〃	平成21年2月23日 (2009年)	玉林寺文書 附包紙ほか	6通	出口町10番	玉林寺	戦国時代
〃	平成21年2月23日 (2009年)	山田伊射奈岐 神社社号標石	1基	山田東2丁目	伊射奈岐神社	江戸中期
〃	平成21年2月23日 (2009年)	佐井寺伊射奈岐 神社社号標石	1基	佐井寺1丁目	伊射奈岐神社	江戸中期
〃	平成18年5月23日 (2006年)	五反島遺跡出土鏡	1面	岸部北4丁目 (市立博物館)	吹田市 教育委員会	奈良時代、 8世紀
有形文化財	平成21年2月23日 (2009年)	垂水南遺跡出土 墨書土器	27点	岸部北4丁目 (市立博物館)	吹田市 教育委員会	平安時代
〃	平成23年4月11日 (2011年)	蔵人稻荷神社 本殿	1棟	豊津町	稻荷神社氏子	江戸時代、 17世紀後期
〃	平成23年4月11日 (2011年)	江坂素盞鳴尊神社 本殿	1棟	江坂町3丁目	素盞鳴尊神社	江戸時代、 17世紀後期
有形民俗文化財	平成10年9月30日 (1998年)	六地藏地車 附棟札	1台	高浜町	六地藏自治会	天保10(1839)年 建造
〃	平成10年9月30日 (1998年)	西奥町地車	1台	高浜町	西奥町自治会	天保期建造
〃	平成10年9月30日 (1998年)	神境町地車 附棟札	1台	南高浜町	神境町自治会	天保13(1842)年 建造
〃	平成10年9月30日 (1998年)	川面町地車 附棟札	1台	西の庄町	川面町自治会	嘉永7(1854)年 建造

種別	指定年月日	名称	員数	所在地	所有者又は保護団体	備考
有形民俗文化財	平成10年9月30日 (1998年)	金田町地車 附棟札	1台	金田町	金田町自治会	嘉永7(1854)年 建造
〃	平成10年9月30日 (1998年)	浜の堂地車	1台	西の庄町	浜の堂自治会	幕末～明治期建 造
〃	平成10年9月30日 (1998年)	都呂須地車	1台	内本町2丁目	都呂須自治会	天保6(1835)年 建造
無形民俗文化財	平成23年4月11日 (2011年)	吉志部神社のどんじ 附當人文書ほか		岸部北4丁目	吉志部神社 どんじ保存会	
天然記念物	平成23年4月11日 (2011年)	ヒメボタル生息地と そのヒメボタル		吹田千里緑地 第4区	吹田市	

ウー2 吹田市文化財保護条例により登録されているもの

種別	登録年月日	名称	員数	所在地又は主たる事務所の所在地	所有者又は保護団体	備考
地域有形文化財	平成10年9月30日 (1998年)	絹本墨画 不動明王像	1幅	山田東3丁目	圓照寺	南北朝時代
地域有形民俗文化財	平成21年2月23日 (2009年)	江坂素盞鳴尊 神社太鼓御輿	1台	江坂町3丁目	江坂連合自治会	嘉永6(1853)
地域無形民俗文化財	平成10年9月30日 (1998年)	山田伊射奈岐 神社太鼓神輿		山田東2丁目	山田伊射奈岐 神社太鼓神輿 保存会	
〃	平成10年9月30日 (1998年)	泉殿宮神楽獅子		西の庄町	泉殿宮神楽 獅子保存会	
〃	平成10年9月30日 (1998年)	権六おどり		山田東2丁目	山田地区権六 おどり保存会	
〃	平成21年2月23日 (2009年)	江坂素盞鳴尊神社 太鼓御輿神事		江坂町3丁目	江坂連合自治会	

(2) 歴史的建造物保存・活用事業

国指定重要文化財である旧西尾家住宅（内本町2丁目）は、近代和風建築として重要な建造物であり、旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）として一般公開している。

また、国登録有形文化財及び市指定有形文化財である中西家住宅（岸部中4丁目）は、中西家より市に寄付していただき、平成19年（2007年）11月17日から旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）として一般公開している。

ア 旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）

（ア）平成25年度（2013年度）旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）事業

年月日	事業名	内容	参加者
平成25(2013)年4月13日 ～ 平成25(2013)年5月6日	端午の節句フェスタ	節句行事として五月人形と鯉のぼりを展示	延べ614名
平成25(2013)年4月28日	春の大茶会	露地（東屋横）で大茶会を開催	51名
平成25(2013)年5月1日 ～ 平成25(2013)年5月13日	吹田くわいの苗を配布	期間中に吹田くわいの苗を希望者に配付	延べ192名
平成25(2013)年5月12日 ～ 平成26(2014)年3月9日	和の学校伝統文化こども教室（茶道）	和の伝統文化こども教室の一つとして主座敷において茶道教室を開催	延べ182名
平成25(2013)年7月1日 ～ 平成25(2013)年7月7日	七夕まつり	前庭・計量部屋に笹飾りの展示	延べ126名
平成25(2013)年9月29日	観月コンサート	関西大学文化会による能や和楽器の演奏	65名
平成25(2013)年10月30日 ～ 平成25(2013)年11月18日	菊花展示会	吹田市菊花連盟会員の作品を主屋前等に展示	延べ537名
平成25(2013)年10月27日	秋の大茶会	主屋大座敷で大茶会を開催	52名
平成25(2013)年11月4日	貴志康一メモリアルコンサート	吹田ティーンズクラシックフェスティバル入賞者の演奏や貴志康一に関する講話、蓄音機コンサート	158名
平成25(2013)年12月23日	和の学校伝統文化こども教室（正月飾り）	和の学校伝統文化こども教室として小・中学生と親を対象にしめ縄を手作りする	19名
平成25(2013)年12月26日 ～ 平成26(2014)年1月15日	門松・しめ縄飾り	正門に注連縄と門松を飾る	延べ147名
平成26(2014)年1月18日 ～ 平成26(2014)年1月26日	新春“墨”を使った作品展	書、水墨等の作品展	延べ537名
平成26(2014)年2月15日 ～ 平成26(2014)年3月3日	ひな祭り	雛飾りの展示、子供衣装着付け、人形劇などの開催	延べ1,101名
平成26(2014)年3月15日 ～ 平成26(2014)年4月13日	第3回小さな特別展 西尾家に伝わった着物と髪飾り	西尾家に伝えられてきた髪飾り、着物に関する展示	延べ1,357名
5月・9月・11月・3月第4日曜日	定例茶会	積翠庵などを使った茶会	延べ73名

（イ）平成25年度（2013年度）旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）来館者数 8,500人

イ 旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）

（ア）市指定有形文化財及び国登録有形文化財である中西家住宅を保存し、その価値をいかした活用を図ることにより、地域の伝統文化の継承と新たな文化の創生に資することを目的とし、旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）として一般公開や迎賓施設としての使用を行った。また、4月4日から4月12日、11月20日から11月28日にそれぞれ春と秋の特別公開を行った。

（イ）平成25年度（2013年度）旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）来館者数 2,009人

青少年室

1 青少年指導員制度（指導員171人、平成26年（2014年）4月1日現在）

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| (1) 学校・青少年関係団体との情報交換と連携強化 | (6) 青少年健全育成事業の推進 |
| (2) 子どもたちを温かく見守る地域づくり | (7) 青少年の健全育成啓発活動の推進 |
| (3) パトロールの強化 | (8) 環境整備活動の推進 |
| (4) こども会活動の活性化 | |
| (5) ジュニアリーダーの養成と活用 | |

2 健全育成事業

- | | |
|----------------|----------------|
| (1) こども野外カーニバル | (6) ヤングフェスティバル |
| (2) こども劇場 | (7) 中学生対象事業 |
| (3) こども会スポーツ大会 | |
| (4) 成人祭 | |
| (5) 青少年野外コンサート | |

3 指導者養成事業

- (1) 青少年リーダー講習会
- (2) こども会育成者研修会
- (3) 三島ブロックこども会ジュニア・リーダー交歓会
- (4) 吹田市・若狭町こども会リーダー交歓会
- (5) 青少年指導者講習会

4 非行防止、環境整備対策

青少年指導員、地区青少年対策委員会、PTA、自治会、その他青少年関係機関・団体の協力を得て、街頭指導及び一般市民への啓発活動を行う。

(1) 環境整備活動の推進

7月の「社会を明るくする運動月間」及び11月の「子ども・若者育成支援強調月間」に青少年指導員並びに地域の各種関係団体の協力を得て、全市一斉合同パトロールを行い、青少年の非行防止のための街頭指導、危険箇所の点検を行う。

(2) 「少年を守る日」の運動

毎月5日を「少年を守る日」と定め（府下全域）、青少年指導員を中心に地域の青少年関係者が街頭指導等「愛の一声運動」を実施し、青少年の自覚を高めるとともに、青少年の健全育成に関する市民一般の理解と協力を得るよう啓発活動を実施する。

(3) 青少年健全育成協力店運動の推進

地域社会の一員として、商店等にも青少年の健全育成に協力してもらい、社会環境の整備を推進する。

(4) 子ども・若者育成支援強調月間運動の推進

11月を「子ども・若者育成支援強調月間」と定め、家庭、地域へ非行防止の啓発を図るとともに、それぞれの地域で講演会、座談会、映画会、その他文化、体育諸行事を実施し、青少年問題について市民意識の高揚を図る。

(5) 地域安全・青少年育成吹田市民大会

犯罪のない安全で住み良い地域社会づくりを目指し、学校・家庭・地域が一体となった啓発の場とする。

主 催：吹田市、吹田市教育委員会、吹田警察署
市民大会実行委員会（構成団体19団体、協賛団体39団体）

日 時：平成25年(2013年)10月11日

会 場：吹田市文化会館

参加者：1,000人

5 青少年団体の育成援助

(1) 地区青少年対策委員会への助成

地域における青少年に関係ある機関・団体で構成されている委員会へ助成することにより、地域における総合的青少年活動の推進を図る。

(2) こども会育成協議会（市こ協）の育成指導

加盟こども会の推移（各年度末現在）

年度	区分	こども会数	会 員 数	リーダー数	育 成 者 数
平成23(2011)		227	7,926	236	5,336
〃 24(2012)		220	7,490	185	5,068
〃 25(2013)		212	6,980	182	4,806

(3) 少年自然の家利用補助

地域におけるこども会及び少年団体活動として市立少年自然の家を利用する団体に対し、その利用について交通費の一部を補助する。昭和59年(1984年)7月1日から実施。

補 助 額

区 分	基 準
指 導 者	1人につき2,750円以内 ただし、利用者総数200人までは、利用者総数の2割以内とし、200人を超える場合は、2.5割を限度とする。
中 学 生	1人につき2,060円以内
小 学 生	1人につき1,030円以内

平成25年度(2013年度) 交付実績52団体 218万1,430円

6 こどもプラザ事業

水曜日の放課後や長期休業日及び土曜日に、子供たちが安心して安全に活動できる場所や機会を小学校を主な会場として提供し、地域との協働によって見守り、育むことを目的としている。

平成25年度（2013年度）実施校：市内全35校

7 地域教育協議会への委託

学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、協働して青少年の成長を見守り育む教育コミュニティづくりを目指し、様々な活動のネットワーク化を図るための事業を、平成13年度(2001年度)に全18中学校区に設置された地域教育協議会に委託する。

自然体験交流センター

1 施設の概要

位置 藤白台5丁目20番1号
目的 青少年に集団での生活を通じて自然と共生し、あらゆる生物のいのちの尊さを体感する場を提供するとともに、市民に自然をいかした生涯学習及び交流の場を提供し、青少年の社会性及び豊かな人間性を育むことを目的とする。

敷地面積 48,933㎡

(1) キャンプサイト

開設年月日 昭和36年(1961年)12月14日

建築面積 992.62㎡

延べ床面積 1,066.86㎡

構造・規模 鉄筋コンクリート造平屋建（旧管理棟、野外食堂、多目的ホール、便所・シャワー室、わんぱくサイト便所）
木造平屋建（キャビン2棟）

(2) 本館棟

開設年月日 平成21年(2009年)7月1日

建築面積 1,163.54㎡

延べ床面積 1,975.85㎡

構造・規模 鉄筋コンクリート造2階建（宿泊室、食堂、浴室、研修室、会議室、工作室、事務室等）

2 施設の利用状況 平成25年度(2013年度) (単位：人)

利用者延べ人数	男	19,352
	女	19,151
	計	38,503

3 センター主催事業 平成25年度(2013年度)

サマーキャンプ、ウインターキャンプ、スプリングキャンプ、リーダーシップキャンプ、ファミリーデーキャンプ、ファミリーキャンプ、幼児の自然体験活動プロデュース、こどもエコクラブ、地域の環境保全講座、自然観察会、草花遊び教室、バンブージャンプクラブ、指導者のための食育講座、自然素材のハンドメイド講座、学びのカレッジ、ふれあい交流広場、森のようちえん、ソフリエ・パシエ講座、すくすく竹のっこクラブ、いざっ！という時の生活術、キャンプカウンセラー養成事業、野外教育・自然体験活動指導者養成事業、環境学習ワークショップ

4 施設の運営

指定管理者 一般財団法人 大阪市青少年活動協会による管理

(指定期間：平成24年(2012年)4月1日から平成29年(2017年)3月31日まで)

勤労青少年ホーム

1 施設の概要

開設年月日	昭和45年(1970年)5月1日
位 置	寿町2丁目19番20号
設置目的	勤労青少年の福祉の増進を図り、その健全な育成に資する。
敷地面積	1,130㎡ 建築面積 527㎡ 延べ床面積 1,074.5㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造3階建 1階 和室、トレーニング室、その他 2階 講習室、調理室、工作室、研修室、音楽室、ロビー、事務室、その他 3階 体育室、器具庫、その他
工 期	昭和44年(1969年)4月～昭和45年(1970年)3月
工 費	59,877千円

2 平成25年度(2013年度)利用状況

(1) 勤労青少年利用登録者数

男 125人 女 182人 計 307人

(2) 利用者数

(単位：人)

区 分	男	女	計
勤労青少年利用者数	826	2,925	3,751
一般利用者数	2,035	9,945	11,980
計	2,861	12,870	15,731

(3) 勤労青少年利用者数の内訳

ア 教室

回数	内 容	参加人員
660	洋裁、和裁、生け花、着付け、英会話、ヨーガ、料理、テニス、茶道、ピラティス、中国語	2,769人

イ クラブ

回数	内 容	参加人員
171	バスケットボール、空手、キックボクシング、ジャグリング、ジャズダンス	894人

ウ 個人利用 66人

(4) 体育室開放事業等

一般利用人数 11,980人

(5) 指定管理者の自主事業

回数	内 容	参加人員
381	健康ヨガ、健康バランス体操、韓国語会話、自力整体、パソコン	3,555人

3 管理運営

指定管理者 株式会社 ビケンテクノによる管理

(指定期間：平成21年(2009年)4月1日から平成26年(2014年)3月31日まで)

平成26年(2014年)4月1日で廃止

少年自然の家

1 施設の概要

位 置	滋賀県高島市今津町南生見
目 的	少年を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活を通じて、心身の健全な育成を図る。
敷地面積	41,782.0㎡
建築面積	1,472.1㎡
延べ床面積	2,744.3㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造2階建一部地階 宿泊室24室、リーダー室2室、体育室、食堂、浴室、野外食堂2棟、キャンプ場等
宿泊定員	本館 208人、キャンプ場 100人
開設年月日	昭和55年(1980年)5月5日

2 施設の利用状況 平成25年度(2013年度)

(1) 利用人数等

実人員	男	5,407	利用日数別 延べ人員	日 帰 り	1,256
	女	5,195		1泊2日	16,312
	計	10,602		2泊3日	3,216
延べ人員	男	10,795		3泊以上	400
	女	10,389		計	21,184
	計	21,184		本館	15,271
利用率	開所日数	316	利用箇所別 延べ人員	野 外	2,249
	利用日数	213		本館・野 外	3,664
	利用率(%)	67.4		計	21,184

(2) 団体別利用状況

団体別延べ人員	学 校	小 学 校	団 体 数	28
			延 べ 人 員	5,632
	中 学 校	団 体 数	3	
		延 べ 人 員	955	
	青 少 年 団 体	こ だ も 会 等	団 体 数	201
			延 べ 人 員	10,440
	指 導 者 団 体	団 体 数	1	
		延 べ 人 員	226	
	主 催 事 業	家 族 デ ー	団 体 数	19
			延 べ 人 員	2,215
		自 然 の 家	団 体 数	11
			延 べ 人 員	1,116
		そ の 他	団 体 数	1
			延 べ 人 員	15
	保 育 園 等	日 帰 り	団 体 数	11
延 べ 人 員			390	
計	団 体 数	275		
	延 べ 人 員	20,989		

(3) 少年自然の家主催事業（共催事業含む）

「少年キャンプ大会」、森林体験「ふれあいの森」、家族デー、自然観察会、少年の村

青少年クリエイティブセンター

1 施設の概要

- 目的 青少年の人権意識の醸成を図り、青少年の学習活動や交流の促進・支援をし、全ての人権問題や社会的課題の解決を目指す人間性豊かな青少年の育成を行う。
(平成24年(2012年)3月30日条例改正)
- 施設 青少年会館、体育館と運動広場を有し、概要は次のとおりである。

	青少年会館	体育館	運動広場(愛称:光のひろば)
位置	岸部中1丁目16番1号		岸部中1丁目18番1号
開館年月日	昭和56年(1981年)4月1日		平成7年(1995年)5月1日
敷地面積	3,364.7㎡		11,512㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造 3階建	鉄筋コンクリート造・鉄骨造平屋建一部2階建	
建築面積	778.5㎡	1,013.6㎡	
延べ床面積	2,051.6㎡	1,274.2㎡	

青少年会館は、学習・文化活動のための施設として、1階に遊戯室など、2階に学習室3室のほか、工作室、絵画室、和室などがあり、3階は視聴覚室・研修室などとなっている。

体育館は、バレーボール、バドミントンなどができる体育室と56畳の武道室があり、2階部分は卓球室となっている。

運動広場は、少年ソフトボール、ミニサッカー、スリーオンスリーなどができる多目的広場となっている。

2 事業

青少年の学習活動と交流等の促進・支援及び保護者の子育て等を支援し、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることを目的に4つの事業を実施している。

- (1) 学習活動推進事業では、自然観察等の体験活動、リーダー養成、学習会、自習室の提供等を実施している。
- (2) 交流推進事業では、青少年交流フェスティバルの開催や柔道、剣道等の教室、サークル活動等を実施している。
- (3) 子育て支援の推進事業は、小・中学生を対象とした子どもクラブ活動や人権講座、子育て相談等を実施している。
- (4) 情報提供事業では、広報誌による各事業の紹介や情報の提供を行っている。

3 平成25年度(2013年度)施設利用状況

青少年会館 23,532人 体育館 17,850人 運動広場 20,356人
計 61,738人

子育て青少年拠点夢つながり未来館（愛称：ゆいぴあ）

1 施設の概要

開設年月日	平成23年(2011年)3月26日
位置	山田西4丁目2番43号
目的	青少年が様々な活動を通じて、人と触れ合い、情報と出会い、その成長に応じた支援を受けることができる居場所であり、また安心して子育てができる環境をつくり、子育ての知識、体験等をここで学び合うための施設であり、さらにここを訪れる様々な年代の市民が図書館という情報の拠点も活用しながら、施設全体として子供たちが生まれてから子育て・子育てを経て成長し、自立するまでをトータルで支援することを目的としている。
敷地面積	2,348.32㎡
建築面積	1,319.50㎡
延べ床面積	7,585.48㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上7階地下2階建 B2階 山田駅前図書館、駐輪場 B1階 図書館事務室、管理事務室、駐車場、バイク置場、その他 1階 エントランスホール、のびのび子育てプラザ 2階 青少年活動サポートプラザ（青少年相談） 3階 青少年室、青少年活動サポートプラザ事務室 4階～6階 青少年活動サポートプラザ

2 事業

お正月だよ！ゆいぴあに全員集合

平成26年（2014年）1月11日にゆいぴあの施設連携事業として、吹田市民を対象に餅つきやお正月遊びを行った。当日は200人の参加があった。

子育てふれあい体験

ゆいぴあの施設連携事業として、吹田市内の高校生年代から30歳未満の青少年を対象に子育て体験事業を行った。平成25年度（2013年度）は延べ12名の青少年が子育てを体験した。

一般公開講座

ゆいぴあの施設連携事業として、一般公開講座「子育て何歳まで?」、「ママのためのストレスマネジメント」を開催した。両日合わせ35人の参加があった。

子育て青少年拠点夢つながり未来館青少年活動サポートプラザ

1 施設の概要

開設年月日	平成23年(2011年)3月26日
位 置	山田西4丁目2番43号
目 的	青少年又は青少年団体が安心して学び、活動し、交流できる場を提供するとともに、その成長又は発展に応じた支援を行うことを目的とする。
敷地面積	2,348.32㎡
建築面積	1,319.50㎡
延べ床面積	5,726.26㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上7階地下2階建のうち2階～6階部分 2階 相談事務室、個別相談室、その他 3階 事務室、交流ロビー、学習室1、学習室2 4階 多目的会議室、工作室、調理室、和室、その他 5階 多目的リハーサル室、スタジオ、更衣室、その他 6階 多目的ホール

2 施設利用状況 平成25年度(2013年度)実績

利用件数	11,489件
利用人数	男 39,184人
	女 94,340人
	計 133,524人

3 青少年活動サポートプラザ主催事業

ゆいぴあ(未来館)'sキッチン、先輩に勉強を教えてもらう会、夏祭り、しゃべくりHEAVEN、ふら〜っと体験「英語を身近に感じませんか?」「点字で名刺を作ってみよう」、国際交流事業、クリスマスイベント、多目的ホール開放事業、Whaleフェスティバル、一般公開講座「子どもの成長と家族の関係」、「家族というものを理解するには」、「親子関係の成り立ちについて考える」、「上手なコミュニケーション工夫」、「個人の家族と地域の絆〜親の生き方・子どもの生き方」、若者のためのコミュニケーション力アップ講座

4 青少年交流活動支援事業

青少年の自立や社会参画を促すことを目的とした居場所づくりや青少年の自主的な活動に対し必要に応じた支援を行う。また青少年講座や各種イベントの企画、運営さらにロビーワーカー(青少年ボランティア)の人材確保や育成を行う。

5 青少年相談事業

ひきこもり、ニート、不登校、など様々な生きづらさを感じて、社会とのつながりが少なくなっている青少年やその家族に対し、臨床心理士など専門の資格を有した相談員がその自立を支援する。

平成25年度(2013年度)実績

相談ケース数	314ケース(うち25年度新規ケース 191ケース)
相談回数	2,549回

スポーツの推進

1 スポーツ施設の利用状況

平成25年度(2013年度) (単位：人)

中の島スポーツグラウンド			桃山台スポーツグラウンド			山田スポーツグラウンド			南正雀 スポーツ グラウンド	高野台 スポーツ グラウンド	合 計
野 球	テニス	小 計	野 球	テニス	小 計	野 球	テニス	小 計	テニス	野 球	231,969
34,264	21,725	55,989	35,874	30,175	66,049	14,730	16,589	31,319	50,948	27,664	

市 民 プ ー ル					市 民 体 育 館				
片 山	北千里	南千里	中の島	合 計	片 山	北千里	山 田	南吹田	目 俵
212,669	44,604	23,435	17,487	298,195	129,143	110,760	157,736	77,009	146,085

市民体育館		武 道 館	総 合 運 動 場
合 計			
620,733		92,060	105,422

2 市民体育館

区 分	片山市民体育館	北千里市民体育館	山田市民体育館	南吹田市民体育館	目俵市民体育館
位 置	出口町31番2号	藤白台5丁目5番1号	山田西3丁目84番1号	南吹田5丁目34番1号	目俵町1番11号
開設年月日	昭和47年(1972年) 10月12日、平成11年(1999 年)11月14日 全面改修供 用開始	昭和55年(1980年) 4月13日、平成8年(1996 年)7月1日全面改修供用 開始	昭和61年(1986年) 7月30日	平成2年(1990年) 5月17日	平成9年(1997年) 5月18日
延べ床面積	4,347 m ²	4,487 m ²	5,445 m ²	3,717 m ²	11,731 m ²
構造・規模	鉄筋コンクリー ト造3階建 一部鉄骨造	鉄骨造平屋建一部 鉄筋コンクリー ト造2階建	鉄筋コンクリー ト造2階建 一部鉄骨造	鉄 骨 平 屋 造 一 部 2 階 建	鉄筋コンクリー ト造一部鉄骨造 地下1階地上3 階建
観 覧 席	290 席 障がい者用 スペース有り	280 席	460 席	200 席	435 席 障がい者用 スペース有り

使用料 《専用使用》

(単位：円)

使用区分 体育室名		午前の部	午後の部	夜間の部	全日
		9:00 ～12:00	13:00 ～17:00	18:00 ～21:00	9:00 ～21:00
第1体育室	全面	7,200	10,800	15,000	30,000
	半面	3,600	5,400	7,500	15,000
第2体育室	片山・南吹田	1,500	2,100	3,000	6,000
	北千里・山田・目俵	3,600	5,400	7,500	15,000
第3体育室	全館	1,500	2,100	3,000	6,000
第4体育室	全館	1,500	2,100	3,000	6,000
第5体育室	南吹田を除く	1,500	2,100	3,000	6,000
多目的ホール	目俵のみ	1,800	2,500	3,600	7,500

※使用者の住所（法人はその事務所の所在地）が本市外であるときは、本表使用料の10割増しの料金となる。多目的ホールの夜間及び全日の使用時間は、午後10時まで。また、カラオケを利用する場合、1時間につき400円別途必要。

使用料 《個人使用》

使用区分 使用者	午前の部	午後の部		夜間の部	回数券料金
	9:00～ 12:00	13:00～ 15:00	15:00～ 17:00	18:00～ 21:00	
小学生・中学生	140	70	70	140	70円券11枚綴り 700円
一般	300	150	150	300	150円券11枚綴り 1,500円

開館時間 午前9時～午後9時（ただし、第1月曜日 山田市民体育館、第2月曜日 片山市民体育館、第3月曜日 目俵市民体育館、第4月曜日 北千里・南吹田市民体育館は午後6時～午後9時。該当する月曜日が休日に当たる場合は通常開館とし、翌日が午後6時～9時。また、多目的ホールは午後10時まで。）

休館日 12月29日～1月3日

※使用者の住所が本市外であるときは、本表使用料の10割増しの料金となる。ただし、市内に在学・在勤の方は、市在住と同じ料金となる。

3 市民プール

区分	片山市民プール	北千里市民プール
位置	出口町31番1号	藤白台5丁目5番2号
開設年月日	昭和37年(1962年)8月2日	昭和41年(1966年)7月25日 [昭和48年(1973年)6月に府から引き継ぐ]
設備	競泳用(9コース) 50×19×1.2～1.4m 容量 1,230m ³ 子供用(6コース) 25×12×0.9～1.0m 容量 290m ³ 幼児用(変形) 水深0.45～0.6m 容量 280m ³ 室内(8コース) 25×17×1.15～1.35m 容量 530m ³	競泳用(9コース) 50×19×1.3～1.6m 容量 1,420m ³ 子供用(変形) (A)水深0.7～1.1m 容量 1,100m ³ (B)水深0.7～0.9m 幼児用(変形) 水深0.25～0.4m 容量 80m ³

区分	南千里市民プール		中の島市民プール	
位置	高野台1丁目4番10号		中の島町6番1号	
開設年月日	昭和39年(1964年)7月23日 [昭和48年(1973年)6月に府から引き継ぐ]		昭和54年(1979年)7月21日	
設備	競泳用(7コース) 25×15×1.1~1.3m 容量 450m ³	子供用(変形) 水深 0.7~0.9m 容量 300m ³	競泳用(8コース) 25×17×1.1~1.3m 水深 0.5~0.75m	子供用(変形) 水深 0.3~0.32m 容量 80m ³
	幼児用(変形) 水深 0.32~0.35m 容量 80m ³		幼児用(変形) 水深 0.3~0.32m	容量計 140m ³

利用時間 7月1日~8月31日 平日 10:00~18:00 土曜日、日曜日・休日 9:00~18:00
ただし、片山市民プールの室内プールのみ 21:00まで。

※片山市民プールについては、室内プールの2階にトレーニングルーム(476m²)、ランニングコース(120m)、観覧席(120席)を設け、総合的な体力づくりができる施設として、平成元年(1989年)4月30日から供用開始。

室内プール(温水プール)

利用期間 9月1日~6月30日
利用時間 平日 13:00~21:00
土曜日、日曜日・休日 9:00~21:00
定休日 火曜日、12月28日~1月4日
その他 トレーニングルームの使用料金はプール使用料金と同額。

使用料 (単位:円)

区分	入場料金				超過料金 (1時間まで増すごとに)	
	普通券		回数券(11枚綴り)		夏期	冬期
	夏期 (2時間)	冬期 (1時間)	夏期	冬期		
中学生以下	150	150	1,500	1,500	70	150
一般	300	350	3,000	3,500	150	350

(注) 冬期は片山市民プールの温水プール料金(1時間単位)

※使用者の住所が本市外であるときは、本表使用料の10割増しの料金となる。

ただし、市内に在学・在勤の方は、市在住と同じ料金となる。

4 スポーツグラウンド

区分	中の島スポーツグラウンド	桃山台スポーツグラウンド	高野台スポーツグラウンド
位置	中の島町6番1号	桃山台5丁目5番1号	高野台5丁目1番6号
開設年月日	昭和39年(1964年)4月1日	昭和46年(1971年)9月1日 (府から引き継ぐ)	昭和46年(1971年)9月1日 (府から引き継ぐ)
敷地面積	22,671m ²	25,130m ²	7,738m ²
設備	野球場 2面 テニスコート 4面 (ナイター設備有り)	野球場 1面 テニスコート 4面 (ナイター設備有り)	野球場 1面(少年用)

区 分	山田スポーツグラウンド	南正雀スポーツグラウンド
位 置	山田西2丁目17番1号	南正雀2丁目33番30号
開設年月日	昭和58年(1983年)4月1日	平成3年(1991年)4月13日
敷地面積	12,099 m ²	7,102 m ²
設 備	野球場 1面 テニスコート 2面	テニスコート 5面 (ナイター設備有り)

利用時間 3月1日～11月30日 7:00～21:00、12月1日～2月末 9:00～21:00
ただし、山田スポーツグラウンドについては1年を通して利用時間 9:00～17:00

高野台スポーツグラウンドについては、

利用時間 3月～4月 7:00～17:00
5月～8月 7:00～19:00
9月～11月 7:00～17:00
12月～2月 9:00～17:00

利用料 無 料

使用料

	ナイター 点灯時間	野球(市内団体)				テニス(市内在住・市内在勤・市内在学)			
		7～9時	9～17時	17～19時	19～21時	7～9時	9～17時	17～19時	19～21時
1月	17時	—	1,500	9,500	9,500	—	600	1,600	1,600
2月	17時	—	1,500	9,500	9,500	—	600	1,600	1,600
3月	17時	1,500	1,500	9,500	9,500	600	600	1,600	1,600
4月	18時	1,500	1,500	5,500	9,500	600	600	1,100	1,600
5月	18時半	1,500	1,500	3,500	9,500	600	600	850	1,600
6月	19時	1,500	1,500	1,500	9,500	600	600	600	1,600
7月	19時	1,500	1,500	1,500	9,500	600	600	600	1,600
8月1 ～15日	18時半	1,500	1,500	3,500	9,500	600	600	850	1,600
8月16 ～31日	18時	1,500	1,500	5,500	9,500	600	600	1,100	1,600
9月1 ～15日	18時	1,500	1,500	5,500	9,500	600	600	1,100	1,600
9月16 ～30日	17時半	1,500	1,500	7,500	9,500	600	600	1,350	1,600
10月	17時	1,500	1,500	9,500	9,500	600	600	1,600	1,600
11月	17時	1,500	1,500	9,500	9,500	600	600	1,600	1,600
12月	17時	—	1,500	9,500	9,500	—	600	1,600	1,600

※使用者の住所(法人にあっては、その事務所の所在地)が市外であるときは、本表使用料の10割増しの料金となる。

※9～17時は、1コマ(2時間)の料金。

休 日 12月29日～1月3日

5 武道館(洗心館)

位 置	山田北2番1号
敷 地 面 積	4,964 m ²
建 築 面 積	2,949 m ²
延 べ 床 面 積	9,064 m ²
構 造 ・ 規 模	鉄筋コンクリート造地下2階地上3階建日本瓦葺鉄骨屋根造
開 設 年 月 日	平成5年(1993年)4月25日
施 設 内 容	第1武道室(板敷4面 1,008 m ² 観覧席 267席) 第2武道室(畳敷5面 1,292 m ² 観覧席 244席) 第3武道室(板敷2面 694 m ² 観覧席 99席) 弓道場(10人立 438 m ²) 駐 車 場 65台収容 駐 輪 場 103台収容 指導員室、更衣室、会議室等
休 館 日	12月29日～1月3日 ただし、第1月曜日(休日の場合は第2月曜日)は夜間のみ開館

使 用 料

専用使用料

(単位：円)

使用時間 施設の名称	午 前 の 部	午 後 の 部	夜 間 の 部	午前・午後	午後・夜間	全 日
	9：00～ 12：00	13：00～ 17：00	18：00～ 21：00	9：00～ 17：00	13：00～ 21：00	9：00～ 21：00
第1武道室	7,200	10,800	15,000	18,000	25,800	30,000
第2武道室	7,200	10,800	15,000	18,000	25,800	30,000
第3武道室	3,600	5,400	7,500	9,000	12,900	15,000
弓道場	10人立ち	5,200	7,500	10,500	12,700	21,000
	5人立ち	2,600	3,750	5,250	6,350	10,500

※使用者の住所(法人にあっては、その事務所の所在地)が市外であるときは、本表使用料の10割増しの料金となる。

個人使用料

(単位：円)

使用時間 使用者	午 前 の 部	午 後 の 部	夜 間 の 部	回 数 券 (11枚綴り)
	9：00～12：00	13：00～17：00	18：00～21：00	
小学生・中学生	150	150	150	1,500
一 般	300	300	300	3,000

※小学生・中学生は、保護者同伴でなければ夜間は使用できない。

※使用者の住所が本市外であるときは、本表使用料の10割増しの料金となる。

ただし、市内に在学・在勤の方は、市在住と同じ料金となる。

6 総合運動場（第4種公認陸上競技場）

位 置	竹谷町37番1号
敷地面積	30,975 m ²
建築面積	2,002 m ² （駐車場等を含む）
延べ床面積	9,766 m ² （駐車場等を含む）
構造・規模	鉄筋コンクリート造地下2階地上3階建
開設年月日	平成6年(1994年)5月15日
施設内容	トラック 準全天候型舗装（緑色岩）一周 400m×8レーン フィールド 天然芝舗装 100m×65m トレーニング室 307 m ² 室内走路 全天候型舗装 直線 50m×3レーン 観覧席 1,000人収容 駐車場 233台収容 駐輪場 230台収容 役員控室、会議室、放送室、更衣室等
休場日	12月29日～1月3日 ただし、第3月曜日(休日の場合は第4月曜日)は夜間のみ開館

使用料

専用使用料

(単位：円)

使用時間 使用施設	午前の部	午後の部	夜間の部	午前・午後	午後・夜間	全 日
	9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:00	9:00～ 17:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00
トラック・フィールド	18,000	27,000	36,000	45,000	63,000	81,000
トラック	6,000	9,000	12,000	15,000	21,000	27,000
フィールド	全面	12,000	18,000	24,000	30,000	54,000
	半面	6,000	9,000	12,000	15,000	27,000

※使用者の住所（法人にあっては、その事務所の所在地）が市外であるときは、本表使用料の10割増しの料金となる。

個人使用料

(単位：円)

使用時間 使用者	午前の部	午後の部	夜間の部	回数券 (11枚綴り)
	9:00～12:00	13:00～17:00	18:00～21:00	
小学生・中学生	150	150	200	1,500
一 般	300	300	400	2,000

※小学生・中学生は、保護者同伴でなければ夜間は使用できない。

※使用者の住所が本市外であるときは、本表使用料の10割増しの料金となる。

ただし、市内に在学・在勤の方は、市在住と同じ料金となる。

附属設備使用料

(単位：円)

使用時間	午 前 の 部 9 : 00 ~ 12 : 00	午 後 の 部 13 : 00 ~ 17 : 00	夜 間 の 部 18 : 00 ~ 21 : 00	午前・午後 9 : 00 ~ 17 : 00	午後・夜間 13 : 00 ~ 21 : 00	全 日 9 : 00 ~ 21 : 00
使用施設						
電光掲示板一式	4,000	5,400	4,000	9,400	9,400	13,400
放送設備一式	3,000	3,000	3,000	6,000	6,000	9,000
ナイター照明	30分以内(全灯) 2,250		(半灯) 1,150			

※市外利用者は倍額

※その他附属用具についても使用料が必要

7 学校体育施設の開放

(1) 学校体育施設の昼間開放

週休2日制等、余暇時間の増大とスポーツニーズの多様化に伴い、学校体育施設を開放し、地域におけるスポーツ活動の活性化を図っている。本市においても市民、特に青少年がスポーツ・レクリエーションを日常的に行うため、昭和39年度(1964年度)から実施し、昭和61年度(1986年度)からは、全小・中学校の体育施設を日曜・祝日・休業日を中心に開放してきた。また、平成14年度(2002年度)からの学校完全週五日制に伴い、土曜日の開放も実施した。

平成25年度(2013年度)の小学校35校、中学校18校の全校における延べ利用者数は、34万842人である。

(2) 学校体育施設の夜間開放

地域住民の要望に応え、昭和55年度(1980年度)から学校体育館の夜間開放を始め、平成25年度(2013年度)は全小学校35校と中学校13校で開放し、延べ利用者数は、13万3,121人である。

(中学校運動場ナイター施設の開放)

地域住民、特に勤労者層のスポーツ要求に応え、4月から11月の間、ナイター施設を設置した中学校7校の運動場を開放している。冬期(12月から3月)においては、中学校5校を開放している。

中学校運動場ナイター施設の開始年度、開放時間帯、利用人数

学校名(開始年度)	開 放 時 間 帯	利用人数 (平成25年度(2013年度))
第五中学校 昭和58(1983)	全 日 19:00~22:00	4,235 人
豊津中学校 昭和59(1984)	月 ~ 金 19:00~21:00	3,111 人
山田東中学校 昭和63(1988)	土・日・祝 18:00~21:00	698 人
佐井寺中学校 昭和60(1985)	月 ~ 土 19:00~21:00	4,839 人
第二中学校 昭和61(1986)	月 ~ 土 (6月~9月) 19:30~21:30	4,636 人
豊津西中学校 平成元(1989)	日・祝 18:00~21:00	5,283 人
千里丘中学校 平成元(1989)	月 ~ 土 19:30~21:30 日・祝 18:00~21:00	3,422 人
合	計	26,224 人

※使用料30分 800円

8 市長杯大会・教室等事業 平成 25 年度(2013 年度)

市民誰もが参加できる身近なスポーツ大会である市長杯(旗)体育大会や種目別 1 日スポーツ教室を開催するとともに対外試合に選手を派遣することで、各競技のレベルアップやスポーツ人口の拡大を図っている。

(1) 市長杯(旗)体育大会

31 種目、71 大会を開催し、延べ 36,126 人の参加があった。

(2) 種目別 1 日スポーツ教室

13 種目、21 回を開催し、延べ 595 人の参加があった。

(3) 対外試合

三島地区総合体育大会、大阪府総合体育大会、大阪府市町村対抗駅伝競争大会に延べ 755 人が参加した。

9 健康づくり推進事業

(公財)吹田市健康づくり推進事業団が、平成 25 年度(2013 年度)に実施した次の事業を後援した。

第 30 回吹田市民健康づくりフェスティバル

〈春 季〉

・てくてくハイク

日 時 平成 25 年(2013 年) 5 月 12 日(日)

会 場 市内歴史ウォーキングコース・郊外ハイキングコース

参加者数 126 人

・さわやかスカイクロス

日 時 平成 25 年(2013 年) 5 月 26 日(日)

会 場 市内中学校

参加者数 71 チーム、447 人

〈秋 季〉

・2013 吹田万博国際ふれあいマラソン

日 時 平成 25 年(2013 年)11 月 24 日(日)

会 場 万博記念公園特設コース

参加者数 4,146 人

・スポーツフェスティバル

日 時 平成 25 年(2013 年)11 月 10 日(日)

会 場 市民体育館 5 館

参加者数 1,541 人

10 市民体育祭

市民体育祭は昭和 23 年(1948 年)から実施し、昭和 35 年度(1960 年度)に従来の中央大会方式から各小学校区ごとに開催されるようになり、各地域における自主的な気運が高まる中で、毎年新しい発想に基づいた独自の企画運営により、盛大に行われている。

平成 25 年度(2013 年度)は 33 地区で開催され、6 万 508 人の市民が参加した。

11 スポーツ教室

近年、市民の体育・スポーツに対する関心が高まりつつある中で、指導者の養成、底辺の拡大を図る手段としてスポーツ教室の果たす役割は大きい。本市においても下記のスポーツ教室を始め、各スポーツ施設を中心としたスポーツ教室を積極的に実施している。

(1) 体育館のスポーツ教室

市民体育館は片山市民体育館、北千里市民体育館、山田市民体育館、南吹田市民体育館、目黒市民体育館の5館があり、スポーツ教室を中心に効率的な運営を図っている。

平成25年度(2013年度)教室数 143 教室 参加人員 延べ23万4,353人

(2) 武道館のスポーツ教室 平成25年度(2013年度)

剣道、居合道、柔道、日本拳法、空手道、少林寺拳法、合気道、弓道、なぎなた、レスリング、ヨーガ、太極拳の各教室を実施している。参加人員 2万5,520人

(3) 総合運動場のスポーツ教室等 平成25年度(2013年度)

小学生陸上競技教室等13事業が開催され、延べ4万6,117人の参加があった。

12 スポーツ大会（全国大会等）の参加経費助成

市民のスポーツ意欲を高め、競技スポーツの普及を図るため、大会の予選等を経て、大阪府の代表として全国大会等に参加する市民等に対し、昭和60年度(1985年度)からその参加経費の一部を助成する制度を実施し、平成25年度(2013年度)は26大会に出場した86人に助成金を交付した。